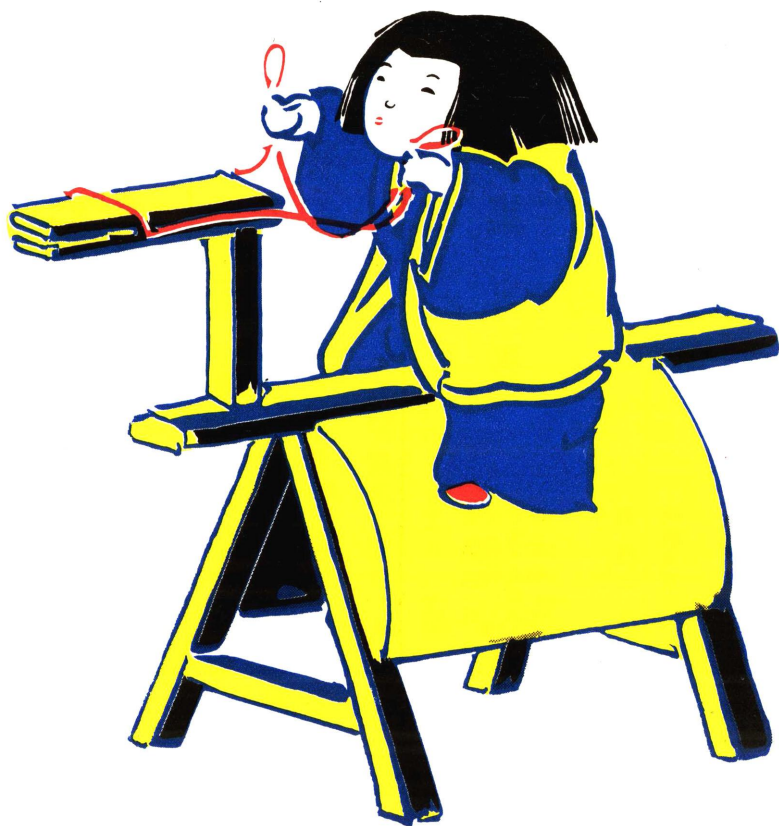


幼見之教育



號三第 號月三 卷二十四第

內校學範師等高子女京東

會協園稚幼本日

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編 (五版)

改訂 系統的保育案の實際

定價 金壹圓參拾錢 送料 金六錢

初版以來廣く參考の資料とせられた本書は、時局下幼兒保育の再認識と、特に國民學校の新制に對する用意の必要とから到底舊版のまゝに止まることを許されなくなりました。全體に亘る改訂と増補を以て茲に此の新版を供する次第であります。

日本幼稚園協會編

幼稚園談話集 (四版)

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編

(再版)

觀察の實際

幼兒の教育 (月刊)

菊版三五〇頁 定價金壹圓五拾錢
送料 地方：北海道・臺灣 金六錢
樺太・朝鮮・滿洲 金拾五錢

菊判一三〇頁 定價金壹圓
送料東京市内金六錢 其他金九錢

一ヶ月 金參拾五錢 送料金一錢
一ヶ年 金四圓貳拾錢 送料共

生徒募集

本科生四十名

研究生若干名

願書受付三月二十日迄規則書は参銭切手
封入の上申込まれよ。

創立以來廿八年。

大正五年東京市麴町區に創立。

昭和二年武藏野の中なる現在地に新築、
附近に森あり、野あり、川ありて四時自然の恩恵を受け、本校の特色とする自然觀察、博物採集、圖畫寫生、自然物應用の手工等材料豊富なり。

玉成保姆養成所

所長 ソフアヤ・アラベラ・アルウ井ン

東京市杉並區西高井戸一丁目一三三

省線 西荻窪下車直南約五丁

生徒募集

一定員 七拾名

一出願期限 三月末日迄

規則竝ニ入學案内ハ參錢切手封入申込マレタシ

東京市品川區大井原町五二〇八(省線大井町驛ヨリ城南バ
スニテ原停留場下車二分)

東京昭和保姆養成所

所長 土川五郎

顧問兼講師 東京女子高等師範學校教授 倉橋惣三

保姆生徒募集

一、募集人員 六拾名

二、出願期日 二月一日ヨリ三月中

三、入學案内 入用の方は參錢切手同封申込ありたし

昭和十七年三月

東京目白保姆學校

所在 東京市淀橋區下落合三丁目一三八八
電話 落合長崎 二五五九番

校長 和田 實

△定員 六十名

△保母無試験檢定

△締切 三月二十日

△寄宿舎完備

佛教保育協會

中野保母養成所

東京市中野區宮前町 電話中野五八七〇番

△附設の感應幼稚園にては皇紀二千六百年記念事業として全園兒貳百餘名に對し榮養給食を實施いたしましたので保母科生徒に正科目として給食竝割烹の實習を課し保母としてまた母の教養として萬全を期してゐます

△交通は省線新宿驛より五分です

生徒募集

一、募集人員 一百名

一、出願期限 三月末日迄

無試験検定ノ特典アリ

規則書入用ノ方ハ參錢切手封入申込マレタシ

東京市杉並區高圓寺三ノ二九八

聖心學園内(電話中野二四八四)

省線高圓寺驛 青バス 西武電車高圓寺三丁目下車

東京保姆專修學校

靜寛院宮幼時の御姿に擬せる「鏡様」人形の頒布



「女子ノ身ヲ以テ國難ヲ匡濟スルノ用ニ供スルコトヲ得バ水火ノ中ニ投ズルモ辭セズ」と悲壯なる決意を以て、徳川十四代將軍家茂公に御降嫁遊ばされたる和宮後の靜寛院宮様こそは、洵に我が殉國犠牲の象徴にして、又その貞烈淑正の令徳は萬代婦道の典型として國民齊しく仰ぎ奉らねばならぬことであります。

今回本會に於ては宮様御婦德宣揚の一助として「鏡様人形」を廣く同好の士に頒布することにいたしました。此の御人形の原型は宮様の側近者を出せる正六位法有字家所藏にかゝる由緒深き御人形にして、人形製作の大家山田徳兵衛氏が謹製したものであります。

尚ほ此の御人形の原型は國定教科書小學國語讀本卷十二にも登載され宮様の尊容を偲び奉る史料の確實なるものはこれ以外にないのであります。又本人形の添書中には宮様の御眞蹟の對鏡の御歌を奉戴し、題字は御宗家徳川公夫人泰子様直筆にかゝるものであります。

昨年三月お雛祭りに際し、右御人形を吳竹寮 成子内親王殿下に頒布方御下命の光榮に浴しました次第であります。

に御獻納申上げたる處相次いで皇后宮職各宮家よりも頒布方御下命の光榮に浴しました次第であります。

冀くは江湖諸賢の御贊同により廣く一般家庭、幼稚園、小學校、女學校等に奉安されんことをおすゝめ致します。本品はその後各方面よりの希望極めて多く一時品切れになつたのを今回特に再製いたしました次第であります。(昭和十七年一月)

鏡様人形代金並送料

御身長 鬚先まで 七寸(曲尺)

黒塗台及五方硝子ケース付
(ダンボール製内箱入) 停止價格

送料 地方書留ニテ
市内 同
別ニ荷箱代

(代金引換ハアリマセン)

- 金貳拾圓也
- 金五拾七錢
- 金五拾七錢
- 金壹圓五拾錢

東京市芝區芝公園増上寺中

財團 靜寛院宮奉賛會

電話芝(43)四四六番
振替東京七七〇八三番

新發賣!

●森永クレヨン

定價 ㊦ 一箱

(文部省認定標準色)
(商工省指定一級品)
金二十九錢 (十一色保育用)

特徴

- 一、本クレヨンは從來の蠟質クレヨンの缺點を改良して、國策の見地から創製された最優秀品で他製品とはその質を異にした唯一のものであること
- 二、文部省撰定の標準色に正しく合せ、鑛物質のため、變色褪色の心配のないこと
- 三、バステルのやうに指に着かず粉が飛ばず紙面を汚さない上に、消ゴムの使用が自由なこと
- 四、定着力が強く畫面が悪光りせないこと共に、バステル畫風、油繪風に指導が容易なこと
- 五、重色混色が自由で發色が良いこと
- 六、火に温めて鉛筆のやうに尖らすことも出来、また細線が自由なため、圖案、デッサンにも適すること
- 七、蠟製品に比し消費量(減り方)の少ないこと、また折口を温めて接合が出来る經濟的なこと
- 八、鉛分を含まないから絶對的に無害衛生品であること
- 九、襖や壘等に附着した場合消ゴムで落ちること
- 一〇、暑熱のため曲らない、ねばらない、その上に古くなるほど益々特徴を發揮する事

推薦の辭 東京美術學校教授 松田義之

今同森永配給會社から發賣することゝなつた森永クレヨンは全く新しい創製で、而もいろ／＼の點に優秀であるやうに思ふ、即ち先づ商工省が優長なる製品たることを證明してゐる、而も從來の

ものと原料を異にし、非常に多量に製産し得る可能性がある由である、この點誠に頼むしい、發色もよく色相も標準色に合致してゐる、混色も自由であるし、手につかぬ、經濟的でもある、また他のクレヨンに見る、いやな光澤も少いから色の品がよい致して推賞する所以である。

前東京市(圖書手工擔任)視學 宮本幸恵
東京市日野工業青年學校長

接合出来る經濟的なクレヨン

圖書用具の中で、一番問題になつてゐるのは、恐らくクレヨンである、此はクレヨンが其重要であるのに、幾多の缺點を持つてゐるからである。(一)よく折る。(二)蠟分が多くて紙に載らない。(三)線畫が出来ない。殊に昨今資材の不足に伴れて、益々其實が低下し、クレヨン改良の聲は、今や兒童教育上切實緊急の問題である。

然るに「森永クレヨン」は從來の三大缺點を遺憾なく改良したことは勿論色澤鮮明で實に標準色と一致し、混色が自由で又ゴムで消すことも出来れば萬一折れても緩めれば容易に接合することも出来た經濟的である。即ち圖書教授の上に又使用管理の上に極めて適當である。

注文方法

- 一、御注文はハガキにて數量明記の上東京保育研究所奉仕部へ御申込み下さい。御注文書到着と同時にすぐ御送り致します。
- 一、代金は引換または納品後一週間以内に御拂込み(振替口座東京一六七〇四二東京保育研究所)下さい。
- 一、見本御入用の方は金三十二錢(郵税共)振替口座(御拂込みの上御請求下さい)直ちに一函御送り致します。
- 一、補給用として各色(赤、青、黄、緑、紫、茶、黒、墨)御希望の向きはハガキにて御問合せ下さい。

東京保育研究所奉仕部

東京・神田・一ツ橋・教育會館
電話九段四一五一―四一五五番
振替口座東京一六七〇四二番

成蹊學園訓導 栗山 重著 〈新刊〉

愛兒の爲の

科學教育の躰け方

A 5 判二五〇頁美本
定價一・五〇(送一〇)

— 幼稚園から初等科三年頃まで —

！書讀必の姉諸姆娼

科學は現代教育の最重要科目で、國民學校一年生より之れを課して居ります。従つて全國各家庭に於てもこれに即した躰け方、家庭教育を施さねばなりません。従來この良書が無い爲め御兩親達も正しい方針と良き方法を得ませんでした。栗山訓導は之れを痛感され、全國母親のため極めて平易に具體的に、幼稚園時代から初等三年程度迄の愛兒の科學的指導法を茲に説かれました。實際教育に立脚して、眞心を披瀝された近來稀れに見る好書であります。父兄諸賢は勿論、幼稚園娼姆諸姉の信頼すべき教育指針、指導伴侶として是非御一讀をお薦め致します。

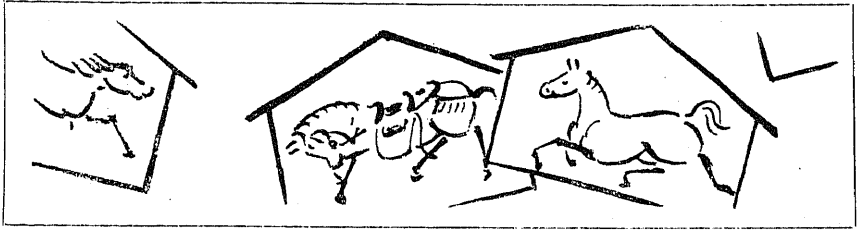
～ 斑 一 容 内 ～

國民學校と理科教育・最初が大事・科學と科學教育・徒に知識を授けるな・實事實物より學ばせよ・眞の價値を認識せよ・家庭に於ける理科教育の必要・母の指導する理科教育といふのは・眞の理科教育・本を忘れずに流るゝ勿れ・近視眼たるな・子供の欲求を認めて善導せよ・一匹の蠅にも兒の心は動く・徒に恐怖心を發ふな・三つ子の魂百まで・迷信を避けよ・毛蟲嫌ひの奥さん・體驗させるに際し・子供にもそれが可能か・指導の實際例・自學的態度を養へ・子供に遊び場を與へよ・環境利用の態度を養へ・幼稚園の觀察・早春の家庭の觀察・幼兒の科學的態度の養ひ方・作業をさせよ・子供は變化を好む・子供の結果を認めよ・練習復習のさせ方・子供の質問と解答法・よい質問と悪い質問・伸ばすべき態度・理科教育と科學讀物・幼時の科學雜誌・動植物の觀察態度・動物園に見せ方・植物を栽培させよ・玩具を利用せよ。
— 以下四十六頁略 —

成蹊學園訓導 飛田多喜雄著 定價一・五〇(送一〇)
愛兒の 正しい國語の教へ方
成蹊學園訓導 藤原安治郎著 定價一・五〇(送一〇)
母の 新算術の導き方 別冊附録
爲の 繪の算術

東京 東 叢 町 見 士 富
二 町 二 區 研 究 社
振 替 東 京
一 〇 六 八 二

大東亞戰爭必勝完遂



第四十二卷 幼 兒 教 育 第 三 號

目 次

戰時國民幼稚園(二).....	倉橋惣三(一)
誌上 講習國民學校理科の實際(その二).....	堀七藏(二)
新入園児を迎へる準備(回答).....	(九)
教養 講座 萬葉に於て日本的感情を見る(二).....	石井庄司(三)
四月の保育	
生活訓練.....	倉橋惣三(二七)
自由遊戯.....	上遠文子(二九)
遊 戯.....	古澤靜子(三三)
觀 察.....	清水光子(三五)
談 話.....	志村貞子(三六)
幼稚園の手技の導き方.....	及川ふみ(四)
春の園藝.....	大岩金(四)
幼児の母.....	(四)
初めての先生(題言)——幼稚園から——教育講話(倉橋惣三)	
子供向きお茶(佐々木理喜子)——三月の衛生(齋藤文雄)	

倉橋惣三編 (新刊)

新體幼稚園唱歌

四六倍判
定價(送料共)
金七拾錢

目 日本国旗の丸の旗
倉橋惣三 作曲
倉橋耕輔 作曲
井上武士 作曲

ういびんやさん
弘田龍太郎 作曲
渡し場の船頭さん
倉橋惣三 作曲
中山晋平 作曲
火消しのなぢさん
倉橋惣三 作曲
小林つや江 作曲

日本幼稚園協會編 (新刊)

幼稚園新唱歌

四六倍判
定價(送料共)
金五拾錢

目 だ か
小松耕きよ 作曲
小杉山米子 作曲
小松耕輔 作曲

ほ た る
青山綾子 作曲
小松耕輔 作曲
ふ し ん 場
小松耕輔 作曲
小松耕輔 作曲

○この二つの新刊幼稚園唱歌集は、幼稚園の爲に新しい歌曲を求めて居らるゝ方々に必ずや充分歓迎せらるゝことを期待してゐる。

戰時國民幼稚園

(二)此の國民的積極的情感教育力

倉橋惣三

戰時國民幼稚園で最も意を注ぐべきは、此の國民的積極感情の教育力の發揮である。戦下幼児保育には特有の問題が種々ある。その一は、戦下物資不足による保育上の缺陷である。その二は、戦下の必須に向つての保育の適應である。この二點が、大いなる考慮をわれらの上に課するものであることは言ふまでもない。これ等の課題を忘れて、悠々たることも平然たることも許されない。或る意味では、これらの考慮の下に置かれてあることが、戦時保育の所謂戰時的な所以であるともいはれてゐる位である。

ところで、この第一問は、消極的課題である。第二問は、當面的課題である。必ずしも斯くの如き言葉で言ひ切るべきことではないが、兎に角、先づ積極的に、先づ將來的でない性質をもつ。戦時幼児保育にもいろ／＼あつて、之等以上のものをもたない場合もあるかも知れない。戦時保育問題の名で取扱はれ來つた一般の場合、大體、この二つが主要課題とせられてゐた。嘗ての世界大戰の時のヨーロッパ諸國、今次ヨーロッパ戦争の場合に於ける諸國、皆そうであつた。そこで、戦時幼児保育問題といへば、先づこれらを主題とせられる傾がないでもない。殊に、ヨーロッパの資料を傍に置いての考究なきでは、そうなるのも一應無理はない。

しかし、此の大東亞戦争の主人公たる皇國の場合、決して、斯く消極的、當面的だけの課題下に置かれてゐるものではないのである。その外に、否その基底に、又その總てを覆ふて、ぐつと積極的な、すつと本質的な課題があるのである。それは言ふまでもない。大東亞戦争の本義の中に充溢してゐる國民的感情の積極性、宣戰以來の赫赫たる戦果によつて更に盛り上つてゐる國民的感情の積極性、無比最強なる教育力の發揮である。

此の時、國家の幼児の保育の任にあるもの、苟も、消極的課題や當面的課題にのみ即して、折角の積極性を、その日々の教育に徹底させることを怠つたら、それこそ、最も深い意味で非時局的といへる。如何にして、此の國民的感情の積極性を幼児の至純の魂に印銘させるか、これこそ、われらの最重要の考究でなければならぬ。先づ、われらの衷に充溢し、盛り上つてゐる、この國民的感情の積極性をもつ教育力を以て。

——あ、有り難い戦時國民幼稚園ではある。

國民學校理數科の實際 (その三)

東京女子高等師範學校附屬國民學校主事

堀

七

藏

既に述べましたやうに、理數科ではその目的を達成するに適切な教材を精選せられてあります。而して理數科の授業時數は國民學校令施行規則第一號表の課程に於て、次の如く規定せられて居りますやうに、初等科第一、二學年では毎週五時であり、第三學年では算數が五時、理科が一時であり、第四學年以上は算數が五時、理科が二時であります。

體煉科	理數科		國民科			教科科目	
	算數	理科	地理	國史	國語	修身	第一學年
	五				一〇 國民道徳 讀方、綴方、 話方、書方		時數 內容
	自然の觀察	算數一般					時數 內容
	五						時數 內容
	同	同			同	同	時數 內容
	一	五			八 讀方、綴方、 話方	二	時數 內容
	同	同				同	時數 內容
	二	二	一		八	二	時數 內容
	理科一般	同	郷土の觀察		同	同	時數 內容
六	二	二	二	二	七	二	時數 內容
基礎動作	同	同	地理の大要	國史の大要	同	同	時數 內容
六	二	二	二	二	七	二	時數 內容
同	同	同	同	同	同	同	時數 內容

每週授業總計數	藝能科					體操
	裁縫(女)	工作	圖畫	習字	音樂	
二三三			三			五 遊戲、體操、衛生
二二五			工作	形象の看取 表現鑑賞	カナ、楷書	六 歌唱、鑑賞 基礎練習
二二七			同	同	同	同
三二一			同	同	同	六 體操、教練、遊 戲、競技、衛生
三三三	二 裁縫初步		同	同	同	同
三三三			同	同	同	同
三三三			同	同	同	同
三三三			同	同	同	同

備考 一時ノ授業時間ハ之ヲ四十分トス

右の第一號表で見られるやうに、國民科は第一、二學年には十時間、十一時間となつて居ります。そして理數科でも五時間、五時間となつて算數、理科に分けてはありませぬ。初等科第一、二學年では、國民科も理數科も未分化的の教材が多いからで、修身も國語も科目を分つことの出来ない教材があり、理數科でも算數と理科と科目を分つことが出来ないものが多いからであります。それで理數科の毎週五時間は、明白に算數が三時間で理科が二時間だとか、算數が四時間で理科が一時間だとかいふのではありません。勿論實際には算數が主となる時間もあり、また理科が主となる時間もありますが、算數でもあり理科でもありする時間もあるのであります。殊に第一學年の第一學期な

こには理數科の時間であつて、算數でもあり理科でもあるといふ時間が多いのであります。

初等科第一、二學年に於ては、全國共通の兒童生活に材料を求め、それを各教科に於て教材となし、更に科目の教材となす方針のもとに教材が選擇排列せられて居るのであります。

次に初等科第一學年に於ける教材連絡一覽表を掲げて見ませう。十分注意して御覽下さい。各科目の教材が如何に連絡してゐるか、御理會になることと思ひます。この表は初等科第一學年の教科書に精選せる教材の連絡一覽表であります。各月にそれを中心とする季節材料をとり、それから修身、國語、算數、理科、音樂、習字、圖畫、工作の教材を選択してあるのであります。單に修身は修身とし

て、國語は國語としてまた算數は算數としての教材體系が出来てゐるだけではありません。天長節を中心としてヨイコドモにはテンチャウセツといふ教材があり、ヨミカタで はヒノマルノハタバンザイといふ教材、音樂ではヒノマル、圖畫・工作ではヒノマルノハタ、ハタチカカゲルといふ教材が選擇排列せられてゐるが如きであります。

月	四	月	五
修身 ヨイコドモ(上)	(一) (ガクカウ)	(二) (テンチャウセツ)	(三) (センセイ)
國語 ヨミカタ(一)	發音話方訓練 (一) (二) アカイアサヒ ハトコイコイ コマイヌサン ヒノマルノハタ ヘイタイサン チテチテダ ガアガアアヒル	ハシレハシレ ココマデオイデ カミフウセン ウシガナク ヒバリ ユフヤケコヤケ オツキサマアル オハヤウゴザイ ホンドイサムサ ラッパノエヲカ キマシタ サヤウナラ タヤイマ	(四) (オトモダチ)
算數 カズノホン(二)	十迄ノ數ノ數ヘ 方。物ノ配列 春ノ野 紙トクレヨン オハヅキ遊ビ	順序數 兵隊ゴツコ 運動會 十迄ノ數字 指、數字 石ケリ遊ビ	
理科 自然の觀察	一、學校の庭 二、記念の木 三、庭の花 四、庭の動物 五、春の野	六、春の種まき 七、木の葉遊び 八、草花どり 九、草花植ゑ	
音樂 ウタノホン(上)	一、ガクカウ 二、ヒノマル	三、ユフヤケ コヤケ 四、エンソク	
習字 テホン(上)			
圖畫・工作 エノホン(二)	イロ カミテツボウ タイサウ ハタヲアゲル	カブト コヒノボリ キレイナハナ ハナヲナラベル グンカン スキヘイサン	

九		七		六	
(九) ツヨイコ	(八) キマリヨク	(七) ナツヤスミ		(五) ゲンキヨク	
オ月サマ	川アソビ メダカサン ウミ シタキリスズメ	オミヤノイシダ アサガホ オハカサウヂ ハナツミ ユフダチ ニシ アリ(韻文)	タナバタ(韻文) ハコニハ テンジンサマ オミヤノイシダ(韻文)	ヒカウキ(韻文) オツカヒ デンワアソビ ゴメンクダサイ シリトリ カクレンボ キヲツケ アメガヤミマシ タ イクニフネ ホタルコイ (韻文)	
果物(同数ニ)	十迄ノ數ノ構成 朝顔魚取り 紙箱團扇 紙風船 輪投げ(圖表) ノ指導	色板並べ 飛行機、戦車 増減 十ヲ超エル數ノ	矩形、正方形ノ 觀察製作 七夕祭ノ製作 風車ノ製作	色々ノ形 松葉細工 圖表ノ初歩導入 豆 十ヲ超エル數ノ 數ヘ方 カキツバタ 鯉、水鳥 時刻(時) 時計ノ見方 (日ノ生活) 十迄ノ數ノ増減 鬼、鬼ゴツコ 兔、鬼ゴツコ 歸リ ヒヨコ、學校 猿蟹合戦	一〇、池や小川の動物 一、麥蟲と蟲 と 二、雨上り
一六、お月さま	一四、朝顔 一五、ばつたと		一三、しやぼん 玉遊び	一、動物 と 二、雨上り	
九、オ月サマ	八、オウマ		七、ウミ	六、ホタルコイ	五、カクレンボ
	一 二				
オツキミノゴチ ソウ	ミツアソビ カハイイトリ	オニハノダウク	オサカナ ブランコ オフネ センセイ	アメガフル キノハノイロイ ロ ヤ ハシレジドウシ	オモチヤ 三カク四カク ナラベ

月 一 十	月 十	月
(十三) オテツダ ヒ	(十二) オトウサ アントオカ アサン	(十) ウインドウク ワイ
六、カマキリヂ 七、サルトカニ 八、オチバ 九、イモヤキ 十、コモリウタ (韻文)	一、山ノ上 (韻文) 二、アシタハウ ンドウクワイ 三、ウサギトカ メ 四、ラジオノコ トバ(韻文) 五、西ハタヤケ	ヨミカタ 二
百迄ノ數 數ヘ方、十二 マトメルコト 數字、數系列 銀杏ノ落葉 貨幣(錢)ノ導入 差ヲ求メルコ 積木(立方體 圖表) 飛行機	加減記號ノ導入 計算練習 雜題 鳥、ドンダリ 小鳥、オシバ	分ケル 十ヲ超エル數ノ 構成 コスモスノ花 茄子ノ數字 二十迄ノ數字 カズノホン(二)
二一、もみぢ 二二、笛	二〇、取入れ	一七、うさぎ 一八、野菜と果 物
十二、ハトボツ 十三、コモリウ タ	十一、タネマキ	十、モモタラウ
キ ミ	マ ル	ハ ト
フ ジ	ヒ ノ	モモタラウ
アキノケシキ ドウブツ ケイトウ イロガミイレ ハラナラベル クダモノカゴ	ウインドウクワイ トリキ ウインドウクワイ ウインドウク	エノホン 二

月 二	月 一	月 二 十
(十九) 自分ノコ トハ自分 テ	(十六) ワタクシ ノウチ	(十四) キヤウダ イ
二十、日本のし るし(韻文) 二十一、花サカ ヂヂイ 二十二、ユメ 二十三、机どこ しかけ	十六、ヘイタイ ゴツコ 十七、ネズミノ ヨメイリ 十八、シヤシン 十九、カゲエ	十一、オイシヤ サマ 十二、デンシヤ ゴツコ(韻文) 十三、ケンチャ ン 十四、冬 十五、お正月 (韻文)
豆マキ(年齢、圖 表) 二位數ト基數ト ノ加減(導入ト 計算) ノツアゲ、鬼ゴ ツニ、部落 雜題 梅ノ花、蜜柑 貯金箱、降雪 煙突、乗合自 動車、千代紙	曆日(月、日) 七曜ノ導入 百マデノ數範圍 ニ於ケル簡單ナ 加減 正月ノ雜題 (導入ト計算) 餅、雜煮、カ ルタトリ、マ リツキ 色タン形ノカゲ (色板並べ)	長サ(廻)ノ導入 正方形、矩形 ヲ含ム、觀察 ノ棒、クレヨン 物サシ、ハカ キ、豆細工、 紙ノクサリ 御幣ノ製作 買物ゴツコ (金高)
二八、春を待つ 庭	二七、日なたど 日かげ	二三、鳥の羽 二四、落葉かき
十八、ヘイタイ ゴツコ 十九、ヒカウキ	十六、デンシヤ ゴツコ 十七、カラス	十四、オ人ギヤ ウ
マ モ レ	ク ニ ヲ	サ ン
オメン マメマキ ツクエ、コシカ ケ オニンギヤウ	オウチノ人タチ キリヌキモヤウ	オ正月 イヌトイヌゴヤ ニウエイ

月	三				
	(二十) (セウコク) (ミン)				
	二十四、ウグヒ ス	雜祭 菱形、四折切 抜ヲ含ム	二九、方角		
	二十五、つくし (韻文)	私ノ村 地ノ方角ノ觀 念ノ初歩導入 ヲ含ム	三〇、草つみ		
	二十六、汽車			二十、ウグヒス	
				上下大 小日月	
					ヘイタイサン ヒカウキ ヒカウキ ヒカウキモヤウ アカイリンゴ

新入園児を迎へる準備に就て

倉橋生

本號には、編輯部からのお願ひで、新入園児を迎へる準備に就て、廣く各地の誌友からの寄稿が集録されてゐる。いづれも豊かな實際經驗を基礎とされた貴い御意見である。一々傾聴すべきことに充ちてゐる。それに加へてといふのではないが、餘白を借りて、これも必要と思ふ準備の一つ二つを。

一、新しい心持で迎へること。これは何くも四月にといふばかりでなく、常々のことであるが、殊に、全く新しい心持で入園して来る幼児達の爲には、絶対に大切なことである。勿論幼兒を扱ひなれてゐるといふことはいふことであるが、それは心の動き方、手の動き方がなれてゐることで、心持そのものが、なれつゝになつてゐるのであつてはならない。如何に上手であり、巧妙であつても、一人々々の幼兒に對する、眞に新鮮な心持がなくては、決して眞に新入園児の心持を迎へることは出来ない。その古びきつた厚い革のやうな、又すれつからした革のやうな心のはだは、最も新らしく、最もやはらかない新入園児の心のはだに、どんなにか、うす氣味悪くさへ感じられることであらう。

二、ひとり／＼を迎へること。新入園児といふ言葉が既に、あの多數を一括した言葉である。實は、そんなものはなく、迎へられるのはひとり／＼である。皆さんといふ言葉さへ生れて始めて聞く子が多いであらう。勿論、幼稚園といふものとしては、だん／＼と集團生活へ導いてゆくのであるけれども、四月早々、組を作つて入り來るのではない。ひとり／＼で來る心を先づ受取つて呉れないで、たばにして受取られては、それこそ面くらふであらう。なまげなくもなるであらう。うらめしくもなるであらう。腹立たしくもなるであらう。但しこゝでひとり／＼をといつてゐるのは、個性を重んじてといつた心理學的な注意に止まらない。それよりも、もう一層眞實に、太郎は太郎として、花子は花子としての、こつちの心持ちをしつかり持つて迎へることである。

幼稚園の目的は、幼兒を迎へてばかりあるものではなく、況んや、その心に迎向したりしてゐるところではない。が、先方から新らしく來る日、先づ眞に迎へてやることを心がけやう。

新入園児を迎へる準備

〔回答〕

(到着順)

○富山女師附屬幼稚園 佐倉 シゲ

入園希望者が全部は入れない現在の状況に、今年も亦入園決定日(三月上旬)には、すげなく歸つて頂かなければならぬ人々のある事を豫想すると胸が痛みます。

一、入園申込受理 例年三月上旬新入園希望者の身體検査を致します。傳染性の疾病及び特に心身に異状のない限り入園の事とし募集人員超過の場合は抽籤で決定といふ事になつて居ります。

二、保育用品準備

○上被・通信簿入(カバン)・辨當袋・上履
是等は型、見本を示して各家庭で有合せの布で作ること。上履はなるべく用ひない様にするつもりであるが、向寒の候ともな

れば土地柄強いことも言はれないので作り方の説明をする。

○徽章・紋

右は本年修了児に發していつてもらふ事に談合して使用することにする。(従來は各自新調したるもの)

○クレオン・晝帳

各自に持たせて置きたい、園の方で纏めて新調。

○色々身のまわりの物

「おさがり」を進んで用ひるやう。(まづ親御の氣持)

三、家庭に於ける兒どもへの娯

○朝用便をすましておく習慣をつける
○手を上手に洗ふこと
○鼻汁の拭とり方
○名をよばれたらはずきり返事すること

○家を出る時、かへつた時の挨拶

四、園の方で準備して置くべきもの

○机、イス、カバン掛、帽子掛、靴箱等の名札貼り

○砂場、砂場用具の取り揃へ

○わくのぼり、太鼓梯子、遊動橋などのしらへ

○部屋の飾りつけ(幼兒達の共同作)

○塗板に書かれてある太平洋戦局略地圖の書きかへ

五、入園式前日の保護者會

大體次の様な打合せ、お話等しておくこと

1、當幼稚園保育の方針

2、保護者の心得

3、保育用品の取揃(今年は無し)

4、各自の席、持物置場所を知らせる

5、御眞影奉安殿に對して注意を更たにし毎朝登園する時と、かへる時には最敬禮を正しくすること

お早う、左様ならの挨拶等日々幼稚園で

滞なく生活出来るやうに、先づお母様方によく會得しておいてもらふこと

6、幼兒登園中萬一警戒警報發令の場合私達がしつかり幼稚園にあづかつておく

各自勝手に外に出さぬからと約束しておくこと

7、幼児發育調査表の説明。所要事項の記入は詳細に。これからの保育に大いに資する所あらんとするものなること

8、電車で通ふ児童の爲にその乗降する停留場の打合せ。住所(文字の上ではわかつてゐるが實在の場所)

9、此の日午前中に出園する年長組の児は新入児へのおみやげを作つておく事 以上

○ 青森幼稚園 今 によ

一、入園登録 私共の園では昔から入園は申込の順序によつて入園を登録し、定員に満てば職員の出るまで待つて貰ふことにしてゐます。

一、親睦とお調べ 入園後に保護者も幼児も親身の問柄のやうにならねばならぬのでありますから、最初の氣持を心配なく心樂しく來るやうにどの心づかひから、三月のお雛祭りに招待して、雛だんの前でお母さんと子供との問答を致します、又同時に在園児と一しよに遊ばせて幼稚園の氣風を味

つて貰ひます。實際入園に要する物品と心構へとの大體を話します。

一、入園前の準備保育 一般入園日までに日數のあること故其間特別世話の要する子供の爲めには全體の園児の馴れて居る中に入れて其の生活に馴致せしむるやうにし、又一般入園登録済みの幼児にも隨時來園することを奨勵して居ります。

一、諸設備の修繕

イ、園舎遊具等新幼児を迎ふる爲めの修理を要することは何方も同じであると存じます。

ロ、名札のこと 各自物品及置場には皆悉く名を記しておくことは勿論、幼児の胸にも組及其姓名を附することにする(可成可愛らしく)。

ハ、入園當初一二ヶ月間特別保母助手な。入園當初は五六ヶ月を経過したる園児に比して二三倍の保母が欲しい程であります、出來得る事ならば、元、在勤した保母の臨時雇ひ入れが望ましい。最初の氣持ちはとても大切なものですから。

ニ、少女の保母助手 幼児の性格を皆悉く納得し得ることやよく遊ばせる事や又上

手に指導し保護もし同化し得るのは保母たるの資格を備へたりと申すのは云ふ迄もありませんが、一方また深く幼児の生活を考察する時、そのみでは物足らぬ點があると思ひます、幼児の遊びは成人に教へらるゝまゝになすのではありませんで子供自身が遊ぶ様に出來て居るのであります成人した私共保母は尤も保母の性格によつて其程度が違ひますが、幼児期と隔りがあるので其同化點に於て遺憾の點がないではありません。然るに之を十三四歳の少女に就て見る時はまた其のへだたりが少いと成人で達しない程度故よく同化し得る。このことにつきましては年久しき以前より氣がつき即ち幼児保育には普通の保母以外に少女の助手を置き度いと心がけ多年要望して居たのであります、さて、其の條件については、よく育つた子、よい性格の子、子供を可愛がる子等であります、中等學校へ入學、又は工場へ働きに行く等々に適任者が得られなかつたのであります、先年特別の事情のある入園児の爲是非附添はせ在園させて貰ひ度いと事、其の少女は適任者に近いと見て親御の承諾を得て助手と

しました處、豫想以上の好結果を得たのであります、即ち幼児からは〇〇〇チャンと言つて好かれどんな子でも心を打ち明けて親しみ、少女も亦幼児を世話し面倒見ることをよなき樂しみとして居りどんな剛情な子でも真に同情してやる等園全體の氣分として和やかで又活氣のある氣風、少女は亦勞るゝことを覺えませんが、そして自分は勤務してゐるのでと思つて居ない、幼児どもにも生活してゐるのだと思つてゐるらしい。人的資源の不足の場合給料も少々ですみ、こんなことも如何でせうか。

○鹿兒島女師附屬幼稚園 有馬キヨ

心の準備 新入園児を迎ふるに當りましてその準備はと申しませば、先づ何より私共保母達の心の準備だと存じます。

○即ち幼児達は御國の子供だと言ふ事をほんとうに自覺せねばなりません。そして國家の育ての心を心とする強い信念の下に、保育道に奉公の誠を致さねばならぬと存じます。次に親心母心に代るいつくしみを以て、幼児達のお世話に當らねばなりません。如何なる面倒苦しみにも良く耐へ得ら

れるこの絶對無變なる母心にこそ、世のすべての兒は育つと存じます。

○次には保母達の健全な心身の用意が大切だと思ひます。新鮮にして潑刺たる幼児の生活に參與貢獻せんと致します私共は、特に健全な心身の保持者たるべく常に心せねばなりません。

園舎内外の設備 ○昨秋から在園幼児達と心を籠めて播種施肥除草等致しましたチューリップ、ヒヤシンス、金仙花、春菊等も四月頃には色取りどりに咲き揃ひ、飛び交ふ紋白蝶の群も新園児達の興味の一つとなりませう。さゝやかなるお池に靜に春を待つ金魚や目高、龜やお玉じやくし、又飼ひ馴らした小鳥、チャボ、兎等、皆幼児達の良き遊びの友として期待されて居ります。遊具はブランコ、滑臺、積木、枰登、低鐵棒、箱車、お馬等幼児の自由遊びに遺憾なき様配置し、殊に砂場は多數の幼児が同所で遊び得られると言ふ便利もあります故、清潔な砂を、濡りも程良くしシャモジ、木椀、汽車、隧道、電車、積木等數多く用意致さねばなりません。園舎内は清楚な中に親しみを覚えて繪畫やおもちや、お人形、

繪本等を美しく配置し下駄箱、帽子掛には幼兒自身のものを中心なく發見し得られませう。貼紙を利用致します。

以上まことに大ざつぱで平凡な事のみを申し述べましたが、要は新入園児を迎へますに當り、園すべてのものが和心協力して雄々しくもいぢらしい幼児達の此の新入園を歡び迎へ入れる事でありませう。

○大連護家屯幼稚園 小山田 節

新入児を迎へますには年々同じ様に定つた爲すべき事柄もありませう、昨年の新入園前後の記録を讀み返し、今年こそは困らない様にとそれ等を次の様に分けて見ました。

- 一、事務的準備
 - 二、施設的な準備
 - 三、保母の心構へ
- (一)事務的な準備
入園申込、受理、選擇等

○入園許可の標準を豫め相談して方針を明瞭にして置く事(當園では二年保育幼兒を先に選び出す)

○身體の狀況を調べたる上にて共同生活に

堪へ得る者を許可する。(トラホーム其他身體的缺陷ある者は不許可)

○三月末頃に入園許可幼児の母の會を開催し、當園保育の主義目的方法を細く知つて貰ふ事、家庭の協力の必要なる事を知らせる。

○各町内(通園區域)を三つに分ちて非常の際に幼児を家庭へ送り届ける手筈をきめる。

(二)設備的準備

室外の準備

○砂場に新しい砂の入れ換へをし、遊び用具を(おしやもじ、木片等)整理して置くこと

○運動具、ブランコ等破損のある處を修理して置く事

○庭園の清掃、花壇の手入れをし、やがて入り来る幼児と共に種子蒔きをなす準備をしておくこと

室内の準備では

○紙芝居 人形芝居の特に新入園児の爲に適當なるものを豊富に準備して置く。(滿洲の四月の時候は風塵蒙古風にて外遊びの出来ない日が多い)

○お人形遊びの用具の内破損せるものは修理し又は廢物の整理をなし人形など衣類等の洗濯もし帽子とかエプロンなど可愛い人形のものを作つて置く

○輪投げ、コマ、ナワトビ、繪本類、ボール類、木銃等

動物飼育の準備

新入兒に最も親しみやすい金魚、メダカ、ゼニ龜(小サイ龜)、小鳥、鳩、兎、ヒヨコ等動物の飼養の手入れや準備をすること

室内の裝飾

○玄關、入口など幼児の最初に目につきやすい場所等に、可愛らしい額の繪を入れ換へたりお花や植木鉢をおりたり一寸裝飾を施したりしておく。

○靴入帽子掛け其他細い事に到るまで片名書にて名前を間違へずに書いて置くこと

○保育室の清潔整頓。かくして幼稚園の何處にも新しい氣分を満たしておきたいものであります。

(三)保母の心構へについて

始めて家庭を離れ母の手から預る幼兒達の上に、眞の母の如き愛情と幼兒保育者としての教育精神からわき出づる愛情を以て

迎へたいのであります。

○大阪海への幼稚園 高濱キノミ

一保育者の心がまへ

保育者の使命即ち大東亞建設の歴史的偉業を遂行せしむるには、其の國策に順應して之を強化推進する確固たる精神の許に、國民の嫩葉である幼兒保育の重要さを考へ、國民的信念と教育愛と、至誠を捧げ、細心周到なる注意を以て心身共に健康ならしむる訓練に眞剣な努力を拂ひ、そして天晴、忠誠無比の皇國民に育て上げねばならぬと思ふ。

二お庭の手入

(イ)國旗掲揚臺、ブランコ、シーソー、流動木、ポート、太鼓梯子、子どもの家(赤青綠樺等の隣組の家々)等をよく調べ手入れをなして入園式の日を待つ。

(ロ)花壇、野菜畑

幼兒、先生、園丁一團となつて土を耕し、幼兒達と共に草花蔬菜を蒔く日待つ。

(ハ)池、溝

大小二つの池に植えた六甲藻を取除き置く。

三 畫食の準備

食器(鍋釜皿碗其他)等も全部取調べて整理する。

四 室内の整理

机、腰掛、樂器、蓄音機、遊戲用具、室内玩具、繪本、裝飾品其他幼兒用用具箱も整理する。

五 保護者會開催

四月一日午後一時、
受付にて出席調査をした後保護者心得、購入用具明細書、乗車賃金表等を渡す。以上

今日程子供の問題が國家の重要政策として眞剣に考へられて來た時代はない。國家は子供の健全によつて繁榮し、皇國の光輝ある大使命は次代の若人によつて擔はれるが故に、幼兒は自然の懷で思ふ存分遊戲せしめ、頑強な抵抗力を持たせ、剛健な心身の基礎を作り、熱帶寒帶の孰れを問はず充分な適應力を持つ事の出來得る様に保育せねばならぬ。

○ 東京大和郷幼稚園 坂内 ミツ

心構の反省 大東亞共榮圈を確立し八紘

一字の大精神を實現して行くべき第二の國民を保育して居る私共は、常に國家の要求して居らるゝ所を適確に把持して遺憾ないであらうか、日常深く反省して居る處であるが、新入園児を迎へるに當つては殊更反省しなくてはならない。

戦争が始まつたから子供にも兵隊ごっこをさせよ。體力を強くしなければならぬから幼兒にも強行軍をさせねばならぬ、何か特色を持たぬ園は時局を認識しないのであると攻撃するのは皮相な見方ではあるまいか。

個人の自由は考へてならぬ、團體的訓練をしなくてはならぬ、といふのはよいが、何事をするにも一列に列んでおとなしく順番を待つてさへ居れば、團體的の躰が出來たと思ふのは輕卒ではあるまいか。

兵隊さんに感謝するのは當然の事でありなさねばならぬ事であるが、戦争を何と解釋して居るのか、破壊に對する兵隊さんの勞苦にはいたく感謝するが、建設のために勤められる功績に對しては左程に感謝しない嫌はないであらうか、建設の爲めの破壊である事は大人はよくわかつて居るのである

が、口にする戦争の話は破壊の喜びが多いやうに見受けられる、さらだに破壊を好む幼兒の性質に拍車をかける嫌がないといはれぬ。

人間は年齢によつて思想に變化がある。感激性に富む若い人と、冷靜に考へる老人とは自ら感じ方、考へ方が違ふ、此兩者があつてはじめて圓滿に行くのである。今日の如く感激し易い又荒み易い時にあつては冷靜に大局を見るべき老人の責任も輕くないのである。

國家の要求する國民となるには先づ個人を磨かねばならぬ、立派な團體行動の出來る一分子である個人は圓滿でなければならぬ、どの團體の一員となつても順應して行かれる人でなければ役に立たぬ、

幼兒時代に知能と身體との調和を正しくし、身體各部の調和を整へ、知能に於ても各方面が圓滿に發達するやうにして置けば、國民學校に入學後如何なる鍛鍊的な教育を受けても、心身を損ねる事なく成長後如何なる位置にあり、如何なる團體行動をするとも順應し得るのである、成長の後如何なる生活をするかわからぬ人々であ

る、其素地を作るのは幼稚園時代であつて、國民學校教育の前になさねばならぬ大きな仕事である。

心身の圓滿なる調和をはかるにはどうすればよいか、言ひ易くして行ひ難い事である、絶間なき注意と努力とが必要であると同時に、自己の力を過信せず専門家に相談する度量と餘裕を持たねばならぬ。

心の準備 親しむ爲めに幼児の姓名を記憶して置く事、家庭調査を充分にして親しみを深くして置く事、親しまなければ保育は出来ない、教授や傳授と異なる所以である。熱と力を蓄へるために讀書、講演等によつて實力を養ひ、廣く參觀する事によつて我國の工夫をこらす。

帳簿類の整理

年中行事の表、園籍簿、出席簿、出席カード、身體検査表、個性調査表、週案、日誌

用品の整理

帖面類
お道具箱 } 個人に使用させるもの
参考書、用紙類、白墨、其他

運動具、玩具の整理

運動具の修理、繪本、積木類、まごころ用具、人形類

其他家庭用玩具數種(こはれ易いが四月のはじめには必要である)

お土産(入園の日より數日間は一寸したものでもお土産があるとよい)

其他

整理戸棚、帽子かけ、下駄箱等に名をつける事、

額等裝飾品の整頓

着換の衣服、下着、靴下の整理

醫藥類、消火用品、掃除用品の整頓

○東京中之町幼稚園 齊藤小靜

心構へを、保姆、家庭、幼児に分けてお話しませう。

一 保姆について

(イ) 我が重大なる任にあたる職務を認識し、幼児時代より我が國古來の武士道精神に基き、大和魂を幼児時代より充分に養成することに心がくべきこと。

(ロ) 抑々現在の保姆及母親の多くは、其の教育を受けし際の國家教育が、其の思

想につままして實に注意すべき國家の情勢にありしことを各自深く認識し、自らが再教育を受くる心構へにて、日々大切な幼児を教育すること。

(ハ) 國家に對する觀念を自らが充分に認識し、特に皇國民と生れし其の感謝と感激の中に、日常生活をなし幼児教育に其の大なる感化を及ぼすこと。

(ニ) 常に幼児の師表たることを考へ、一言一行自らを慎み、以つて最初の國民教育者の一人として恥かしからぬ指導者となるべきこと。

(ホ) 母親のよき指導者となり、家庭との聯絡を密にし、其の家庭生活改善に充分の助力をなすこと。

二 幼児の躰につきて

堅忍持久の精神を養ひ、幼児ながらも滅私奉公の念を養成し、常に皇國民と生れしことの喜びと感謝の念を養ひ、皇室を尊び、家庭にありては祖先を敬ひ、共同一致の精神を養ひ、忠孝二道の日本古來の大道を幼児時代より日常生活に折込み教育し、以つて實踐篤行につとめしめ、特に時局に對しては、其の認識を明かにし、皇軍に對

する感謝感激の念、其の遺族に對する慰問等につきては、充分に時局教育を怠らぬこと。

三設備につきて

(イ) 幼児の保健及體位向上を圖るため從來の運動具の外に各園に適應する運動具を備へる。又時局認識を深めるためには、保育室に、地圖、地球儀、陸海軍の兵器の模型、及繪畫、寫眞、新聞、等を備へ、充分に觀察せしめ適當に之れが指導をなすこと。

(ロ) ラジオ、ニュース、等の應用を怠らぬこと。

(ハ) 製作方面にも充分留意すること。

四家庭教育につきて

(イ) 幼稚園教育の本旨を充分に認識せしむること。

(ロ) 國家的觀念及家庭的觀念を充分に持たしむること。

(ハ) 母親に對しては、我が愛兒に對しあまりにも近より過ぎて、其の認識不充分の點多きがゆへに、其の反省を促し、特に同年齡の幼兒を觀察、比較、研究、せしむること。

(ニ) 時々母の會を催し懇談指導すること。

例 講演會、懇談會、見學、園の參觀

(ホ) 日常生活改善に心がくべきこと。

例 時の觀念、服裝、仕事の處理、訪問及外出等

以上は入園を迎ふる其の準備の一端に過ぎないのでありますが、此の幼稚園時代の習慣こそは、やがて第二の天性となり、ひいては國民學校入學の大切なる基礎となることを、今一層保姆及家庭に於ても充分認識し、一度入園後は決して休園又は退園をなすが如き幼稚園教育に對しての不理解なきやう注意し、國民學校と同じく最初の大切な保健及躰の道場であることを自覺せしめ、協力一致以つて時局下に於ける大切なる國民教育を全うせんことを希望してやまないのであります。

○東京竹町幼稚園

鎌田 志ん

大東亞戰爭。この大時局下に新入園兒を迎へる準備の出來ます私共は何と云ふ有難

い事でせう、物體ない事と存じます。ブランコ、シーソー、滑臺、杵登り、太鼓梯子等鐵製品を御園の御役に立てる日が參りませうとも木製品で充分間に合せられますし、ゴムマリはなくても代用品のマリで子供達は満足して遊んで居ります。

入園受理

願書受付は二月一日と例年定めますので一時間位で満員になりますから、切ります。

三月初旬入園許可兒は園醫が健康診斷を致します。傳染性疾患及び團體生活に不適當な體質や體格の幼兒は家庭の了解を得て全快後に入園させる事に致して居ります。入園者には幼兒生活調査表を渡し、これまでの家庭に於ける幼兒の生活狀態を記入して入園式の日に受持へ渡すやうに致します。

入園する幼兒が確定しましたら年齢別に組分け致します。

備品の整理

現在園にありますがものを出来るだけ修繕をして活用いたします。布製のお人形はよこれた顔や手足洋服を現在居ります子供達と洗濯しさつばりさせて貰つ

て遊べるやうに紐をつけて置きます、繪本も幼児達と一緒に繕ひ、御飯事のお道具もクリームやポマードの空瓶にエナメルで模様を描き、新入園の方々を迎へる氣持ちにさせます。燈心の顔を出したマリにも小布で覆ひをかぶせます。子供達はおばあさん(黒)のマリ、赤ちゃん(赤)のマリと云つて喜びます。

積木、砂場用具、ブランコ、滑臺、机、椅子、下駄箱、帽子掛等の修理や補充。自由畫帖、クレオン(後援會より支給)等を準備し保育室の清掃、整理等は家庭で致します年の暮と同様です。

下駄箱、帽子掛等も誰のは何處と覺えてゐて不安がらせないやうにすぐ教へます。年毎に兄や姉の關係が半數位ありますので、私共も顔見知りと云ふ心易さがありますが今年よりも來年と子供を迎へる準備に於て、心持ちに於て色々工夫と研究を積み最善に向はなければならぬと心掛けて居ます。

○東京城南幼稚園 沼館 正尾

心も身も引縮る幼稚園のお正月が参りま

す。その準備にどちらの園でもお忙しくいらつしやることゝ存じます。題ないたゞきましたので行届かない準備でお恥かしく存じますが申上げて見ます。

一、入園願書受付順に入園を許可する私の園の心配は、先づ新入園児の健康でございまして、三月初に父兄に注意して、團體生活をするに際し、傳染の恐れのある病氣は入園以前に治療し醫師の許しを得てから登園させる様にしてをります。

同時に家庭調査用紙を渡して祖父母、父母、兄弟、姉妹の有無、入園前の病氣其他を詳しく記入してもらひます。二、各擔任の保母は入園願書、家庭調査表を見て新入園児の姓名、家庭の状況をよく頭へ入れて、未知の子供の明るい顔、神経質な顔、きかない顔等楽しく想ひ描き乍ら、早くもそれに對する複雑な心の準備を致します。

三、下駄箱、帽子掛、机、椅子をよく調べ、破損してゐる物は修理して、二年保育の子供は黄色、一年保育の子供は緑の紙へそれ〴〵姓名をかいて貼つて

おきます。心配さうな顔をして、キョトンと腰かける可愛い子供の姿が目に見える様です。

四、塗繪、自由畫帳、糊、鋏にもそれぞれ記名します。物資不足の折柄、自由畫帳、クレオンには、使ひ始めの日を記して、大體使用期間の豫定を立て、おきます。

五、保育室はお友達と自由に遊べる様になるまでは、卓上積木、本、人形、折紙、達磨おとし、汽車、電車、動物等個人遊びの出来る物を多くしておきます。

六、庭の遊具も寒い中はお友達も少かつたし雨風に曝されてゐましたので、よく目を通して、ブランコ、お滑り臺、遊動木等の振り子や板など危険の無い様注意し、油をさしておきます。

新入園児の人氣者のお砂場にはどつさりお砂を入れて、オシヤモジ、汽車、電車などもなるべく數多くして喧嘩や不平を起させない様注意しておきます。

七、時々印刷物を入れて家庭へ持ちかへ

る封筒も記名しておきます。昨年は一学期一人一枚で充分でしたから、今年は少々見苦しくなつても、使へるだけ使つて見様と思つてをります。

八、入園式に始めて幼稚園から持歸る御土産も誰にでも出来る簡単なものを工夫しておきます。

九、私の園では御不淨の出入口が女學校と共通なので綺麗な花をはつて幼稚園の目印にしておきます。

一日陽の當る明るい保育室、緑のお庭、健康な保姆の心身、準備は整ひました。大切な國家のお寶をお引受けして、確つかり保育してゆきませう。

○東京十文字幼稚園 留岡よし子

やがて送り出さねばならぬ子供達を抱いてあゝもかうもと一人心の使はれる時……同時にやがて迎へ入るべき子供達の爲に更に細々と心が配られなければならない……今日この頃の物思ひを一通りまとめて見る。

○まづ園舎遊具机椅子等修繕又は改良すべきものがあれば早く、本年の様時は特に

早くに依頼して取かゝらなければ間に合はない。

専門家の手を俟たずとも保姆の手で出来る修繕もの例へばお人形、おもちゃ箱等の手入、は忘れぬこと。新に設ける遊具器具も例年の様に既成品があると安心してはいられない。殊に防空防火の設備は遺漏のない様に備へたい。

○保育用品も入園児の必要量は確保して置きたい、次に改革すべき點なきや。來る年も來る年も、世の推移に關りなく行はれてよい事もあり又改めねばならぬ事もあらう。

特に本年の様な戦時下に於て例へば方針：のび／＼と自由に……を主とするか規律に依る事を旨とするか、日程等も朝毎に集りを待つて「よい約束」をするとか週の始めに日本少國民たる宣誓を行ふとか。

○防空防火の避難訓練、爆風よけの練習等について、考へなければならぬ。

○其他、母の會の持ち方月一回が無か、懇談講習等の割合は如何。

○家庭訪問は戦時下特に緊密な協力を得る爲に如何にすべきか。

○家庭調査の内容は如何、要するに目下試みてゐる事の凡てを再検討して誤りなき方針を定めたい。

○次に靜に思ひを保姆自身に移す、まづ健康。健康保持の爲には娛樂は勿論研究さへも控へなければならぬ、嗜れやかな笑顔溢れる元氣、保育報國の熱意こそ何にもまして新入園児の爲に用意されねばならぬ。この一年間を省みて悔なきか。

反省に従つて自ら新學期こそは！の覺悟が出来る筈だと思ふ、入園直前ともなれば一通りの大掃除の必要がある。物の置場もハツキリするし、又こんな物があつた、といふ發見もあるものである。入園児の姓名を頭に入れ、抽出し、帽子かけ、下駄箱の名札を貼つたら場所をなるべく覚えてやりたい。入園願に依つて、家庭の事も承知して「話を合せてやりたい。

おみやげ、風車とか風船とかを用意して置きたい、はにかみ乍ら嬉しうに受取つて呉れる笑顔がもう目先に浮んで來る。

物のない時なればこそ物を用意したく思ふ。世を擧げて、父も母もお園の爲に子供から離れざるを得ない今なればこそ我々は

子供の爲に——何か……何でもしてやりた
い。考へても——アツ！ 忘れた！ とい
ふ様な事もある、昨年の記録をよく見て、
そして時局をよく見つめて、萬全を期した
いと思ふ。

○東京富士見幼稚園 山村 きよ

またも迎へる新學期ではあるが、畏くも
大詔を拜して後の始めての新學期といふわ
けで、心がまへの上に、實行の上にごんご
準備をしておいたらよいであらうか、充分
心しておき度いものだ。

園舎内外、遊具等の手入れ 出入りの職
人も兎角手不足。いろ／＼の破損場所が危
険ではないか、充分な注意をはらつておか
ねばなるまい。壞れかゝつた遊具等、幼児
等の目にふれぬ様仕末して……然し一寸の
手入れですむものは保母の勞力で奉仕しや
う。勤勞奉仕が神社等にもみ限られても居
るまい。

保育材料の用意は 物資不足の折柄、出
來るかぎりの工夫と節約が必要だ。一般
家庭とは違ふので死蔵してあるものはない
としても、物置、戸棚等の隅を整理したな

らば何かしら見付けられるかもしれない。
何年か前に使用したラシヤ紙、ボール紙、
帳面類、等と思はぬところで、思ひがけな
い材料の拾ひものをすることもある。こと
にこれから先き、物がなからず、材料が不
足だから……といつても唱歌遊戯で終ること
のないやう、心してかゝらう。

保育内容の再檢 保育内容に於ては今更
事新しく論ずるまでもなく「よき皇民」に育
てるべき責任と覺悟を以つて實行にあたら
ねばならない。ことに生活訓練、躰に於て
は去年一ケ年をふりかへつて篤と考へて見
やう。非常時なるが故に實踐に導き易い幾
多の理想條件が幼児の一人／＼にどの程度
實踐させ得たか、個々の性格にごんご響き
を興へ得たか、再度反省してみやう。

各家庭との聯絡は 時局柄各家庭の雜務
が、より煩雜になることは豫想される。し
たがつて手不足といふことが一面幼児の躰
には好都合の場合もあるが、中には母親が
幼稚園と遠ざかり、又幼児をことさら放任
したり、時には物資不足、非常時をいゝこ
とにして幼児の身のまわりの整理も怠り勝
ちになりはせぬかとも考へられる。幼児の

保健、躰の問題が家庭との連絡なしではそ
の實踐を強化し得ない事實の多いことは今
更申しのべる必要もないと思ふが、今まで
より以上に母親指導といふことには保母の
研究、努力を必要とする。

○大阪汎愛幼稚園 藤本 ツギ

心構へ 今や三月、年度の締め括りと新
年度の準備の大切な時を迎へた。大東亞戰
争に於て戦ひつゝ建設の營に懸命であるそ
れの如く、過去一ケ年の保育の反省の上に
打ち建てられた新保育計畫が行はれる時で
ある。長きは三年短くて一年間育み來た愛
し兒を、その身體その精神の上に素晴らしい
發育を見つゝ今更手放すことの惜しまれ
る感に打たれ乍らも、尙加へ足らざる點を
又今後に望ましい數々の心持を禁する事が
出來ない。幼児の保健を目指して、團體保
育に榮養攝取に咀嚼訓練に、遊戯に休養に
衛生にと保育の道を進んである裡に、昭和
十七年度こそはと期待される何物か、枯
枝に似た落葉樹に既に芽含んだその如く
用意されて、今は新入兒を迎へるといふ陽
光を浴びて大きくふくらんで來た。生を受

けて以來初めての集團生活に入る新入兒を、母親の心持にも増した慈しみの心を以て、而もその根底に皇國の道に則つた教育理想によつて精練せられた心構へを以て迎へ度い。渡守は何時と同じ所を往きつ戻りつしてゐる。保育者も亦年々歳々四月には新入兒を迎へる。然し去年の四月と今年の四月と同一で有つてはならない。此の肉體でさへ七年経てば細胞が入替つて居ると聞く。日々新なる理想を求めて止まざる精神と健全なる身體とを以て、教育者としての強き自覺の下に、幼兒を、母親と家庭と社會とを此の四月から幼稚園に迎へ度い。

國民學校令が布かれて茲に一年、幼稚園又國民保育を目指して保育内容に一段の檢討を加へつゝ一年は過ぎた。談話に手技に遊戲に觀察に唱歌に、大東亞十二億の民を率いて立つべき皇國民の基礎教育としての保育に遺憾なきを期して來た。然し乍ら新年度を迎へるに當り、過去の經驗に基いた要目の訂正が先づ行はれなければならぬ。皇國の道に則つた談話材料の選擇、科學する心の芽生えを養ふに足る手技觀察の題材と其の工夫、國民情操を培ふに足るべき唱

歌と聽覺の修練、幼兒に即した躰の實際的要項等々數限りなき反省の裡に、機構が定められ新年度と共に力強く踏みしめた發足を見た。聽ては南に北に大東亞否世界を舞臺として活躍するであらう皇國民の双葉を、母親と一つ心になつて育てるには、講演會や講習修養會等で母親を園に呼び寄せただけに止まらず、進んでは家庭訪問等も行ひ積極的に乗り出さう。

園内の環境整備

一、園舎園庭の清掃

二、遊具 從來ならば容易に新調も出來たが、戦時の此際は人手物資共に不足であるから新調すべきものも修理で辛棒し、藏や納屋に藏つてあるものを利用更生してお役に立てやう。鐵砲、家庭遊具、英座、人形、藤輪、スコップ、杓子等は、幼兒が取り合ひせぬ程度には用意した

三、砂場

一年間弄んだ砂、取り替へるに如くはないが、若し取り替へるの出來ぬ時は塵埃だけでも篩つて取り除け度い。

四、運動具、塗板の破損修理、オルガンビ

アノの調律

五、机、椅子に不足なき様又椅子カバー、カーテン等の洗濯も届かせやう。

六、觀察資料、園藝用具の整備

七、保育用具 幼兒の爲に直接使用させる

畫洋紙類其他を一ヶ年の所要量と思ひ

合はせて差し當りの購入が必要である。

八、給食に關する準備

幼童に對し食品の優先配給が許されるならば、幼兒の體位向上のため、保母は給

食の勞を執ること。

先生も友達も園も凡てが印象深く映る白紙の新入園兒に園を樂しきものとして與へんが爲、保母全員が勝ち抜く大東亞戦の最中に、眞珠灣の戦績の偶然でない事を憶ひつゝ、戦域奉公の誠を捧げやう。

○東京番町幼稚園

徳久智江子

おひな様作りに、アルパムにと、菓立つて行く子供達の事にあけくれ心を配りながらも又ふと、新しく迎へる幼兒の事も思はれて、色々と考へさせられるのであります。どんなにして迎へたらいいか、心づいたまゝに記して見ませう。

保母の心ぐみ 先づ自分を反省してこれ

でよいのか、もつと研究し考へるべき事はないかと、保姆といふ立場から、一應ふりかへつて見る。自信たつぷりは結構ですが、自己満足は情勢に流れる恐れがあります。そして確固とした信念と方針と、強い責任感を持ちたいものと思ひます。

安心観を興へる様に。始めて未知の世界へ飛込んで来た子供達の事故、どんなに不安と恥しさのまざつた心持である事でせう。又親にして見ればどの子も、大事な家の子供、泣いてゐないか、いちめられないかと色々心配もありませうから、充分察して其の親と子に安心させる、それが何より大切でせう。親にかはつて其の子供を、一ぱいの親心で迎へてやりたいと思ひます。何でもない事ながら、先生は休まない事、朝早く来る事、これが必要でせう。朝来れば綺麗になつたお室でいつも先生が「お早う御座います」とにこやかに受取つて下さる。これだけでも親も子も安心するでせうに、先生は又お休みかなど案じながら来る様では、折角幼稚園々と張りつめて来た氣持もくじかれてしまひませう。

行き届いた親切、細かい心遣ひ、下駄箱

帽子掛の場所が分らなかつたり、自分の帖面がなかつたり、小さな事でも幼児は悲しくなります。特に始めは、ながく口に言ひ出せないのですから、言はない中にそれと察してやる様に細かく注意する事が必要でせう。物の置場所もなるべく早く覚えられる様に工夫してやりたいものです。

おへやの器具も清潔に整頓したいものです。品不足で新しい物の整へられない此の頃ですが、お人形も布團も、洗濯してきつぱりと作り替へ、積木も洗つて、さげを刺す様なのが無いか等しらべて置く心遣ひがほしいものです。

直射光線を避け様と引いたカーテンのうす汚れ、破れも氣になるものですし、額の畫が、冬の畫そのまゝでおつたりする事の無い様に。又人形芝居をして見せ様として、人形の破損や小物の不足であわてない様に、等考へると随分しておく事の多い事を感じます。

子供を早く知る事。出来たら入園前に名前位は覚えて置いて、出来るだけ早く、其の子供及家庭の様子を知りたいものです。幼児は家庭の話、兄弟の事等を話しかけま

すと、「先生は自分の家をわかつてゐる」と思つて、非常に喜び、親しさを感じます。慣れにくい子供の家の近所の様子を見て來て、翌日の話題にした爲に話をする様になり慣れて来たといふ例もあります。めい／＼の子供が分つたらば家の近く、性質家庭状況等を考へてなるべく早くお友達を作つて興味ある生活が出来る様にしてやりたいと思ひます。

家庭との連絡をはかる事。入園に先だつて保護者會を開き、園の方針保育の状況等を細かく話して、お互に心づいた事は腹藏なく話し合ふ習慣をつけておきたいと思ひます。附添の事等も入園と同時に離す事を實行し、其のかはり幼稚園の生活にすつかりは入り切つてしまつたら、毎日でも來られて團體の中の子供を見ていただく様に、よく話し合ひをしておきたいと思ひます。入園後は躰の事、健康の事等絶えず連絡を取つて同じ歩調で進みたいと思ひます。

躰は最初から。躰は始めからしつかりとつけて行きたいと思ひます。慣れるまでと見逃しておいて暫くしてから直さうとするのは幼児にとつても非常に迷惑な事です、

なほす機会を逸してしまふ事もありませう。

遊び用具を整へる事。幼稚園の生活に慣れてしまふと、友達同志で或は遊びを考へ、玩具も作つて行きますが入園當初はまだ各々が家庭で一人一人遊んで居た状態の連続である關係上玩具の必要を感じられます。

積木、まゝ事道具、人形、繪本、南京玉、砂場遊び用具、粘土等

まゝ事道具等も、組合せになつた小さな物より、不用になつた茶碗のおきせをお皿にするといつた様にして、お皿、まな板、庖丁等を數多く揃へて、少數の人のみが活躍しない様にしたと思ひます。少し慣れて來るにしたがつて、幼児の間でそれら役割を作つて遊ぶ様になりませう。

粘土は非常に喜ぶものですから、いつでも與へられる様に用意しておきたいものです。

新しい子供を迎へる準備はまだ、あると思ひますが、要するに一日も早く楽しい幼稚園の生活が出来る様にと念じて行く保姆の行き届いた心ぐみによつて全部が考へられて行くと思ひます。

○市立静岡幼稚園 金原 のぶ

◎精神的準備

一、幼稚園當事者の心構

國民の基礎的鍊成の其の基礎的教育を擔當する幼稚園にあつては、保育目的の的確と内容の刷新とを圖つて、皇國民の魂の萌芽を一入強めねばなりません。即ち純眞善良な性情を涵養し、幼児の保健養護に留意して強健な身體の基礎を作ることに力め、躰を重視して日常生活に於ける正しい習慣を得しめ國體に對する敬虔な心情を啓培し、團體生活の本旨を指導し以つて皇國民たるの基礎を固めねばなりません。保育に携はる者は先づ此の根本的大精神を把握して、之に基く確固たる心構を以て新入園児を迎へる次第であります。

それと共に、家庭雰圍氣の中に哺くまれて來た幼児の柔弱な萌芽の生活事實をいとはしんで、生みの母親の愛情にも劣らぬ心を以て迎へたいのであります。

そして入園當初から保育滿了までに一貫した計畫を最初に立て、それに向つて進むと共に、家庭に其の意思を徹底させ、家

庭との聯絡を圖りたいものであります。

二、取扱上の心持

今までの個人的生活に比して、慣れない規則的生活、團體的生活への門出でありませう。和かな母心を以て迎へ、決して不安な氣持を起させぬこと。

・ 馴れ易い幼児、親しめない子供其の他種々様々な幼児に對する手心、取扱ひに細心の注意を拂ひ適切なる誘導をなすこと。

・ 幼稚園は家庭の延長として、最初より固苦しい感じを起させぬこと。

・ 幼稚園は非常に楽しい面白い所といふ氣持を早くもたせ、順次に規則的な團體生活に導くこと。

・ この生活の變つた事だけでも、相當疲れる幼児に對しお行儀など一時に色々無理に強くないで軽い氣もちで出て來るやう家庭ともよく聯絡をとる。

・ 特に此の際保姆は健康で明朗な、潑刺としたそして温い心持で幼児に接すること。

三、入園に際して母親へ
一、入園前母の會開催。當日は以上の心持

をよく通じ、子供は次代の國家を背負つて立つ大切な國の寶であつて、親にとり大切な「我が子」ではあるがそれと共に貴重な「お國の子」であり、決して其の家庭一個のものでなきことを知らしめ、かくして幼児教育の重要性を知らしめ、幼稚園保育に對する認識を深める。

ロ、入園までの躰
(せめて次の事だけは出来る丈家庭へのぞむ)

- ・自分の名前を覚えさせ、呼ばれたら「ハイ」と返事の出来るやう。
- ・自分の持物は自分でわきまへ履物のことなど簡単な處理は一人で出来るやう。
- ・用便は一人で出来るやう稽古して置く。
- ・少し位の事では泣かないといふ約束。
- ・病氣又は虚弱なものは治療し養生をなし入園まで出来る丈健康に注意すること。
- ・流行性の疾患あるものは全快まで出席は見合はせること等。
- ハ、服装用具に就て
入園の喜びを、愛兒と共に味ふ母親はその服装用具を新調してやるのが更に樂しみを加へるものである。然し時局に鑑

みて之は考へ直さねばならぬ。縫ひ直し修理等に母性愛の工夫を匂はせ兄弟のおゆづり品に兄弟姉妹の愛情を味はせるなど時局必須の心づかひである。從來兎角派手になり勝ちな入園式風景が寧ろ素手の自肅美に時局人の心構を示されたいものである。

◎形式的準備

一、家庭聯絡印刷物準備

幼稚園保育方針・保護者心得

家庭調査・入園前の發育健康調査

園兒の通園方法道順調査等

二、幼稚園内の準備

・園兒の氏名札(特に非常時下用園名住所氏名を記入して胸につけるもの)

・組分色別リボン・各自使用品置場記名

・保育室組別竝に受持札書かへ等

・神棚及保育室内宮城御寫眞の特に清淨

・樂器調律

・運動具遊具の修繕設備、

・尙(今後は體力向上の運動用具も一層研究設備したい)

・砂場の砂も手入れをなしたつぶりと用意

・保育室内の用意 裝飾、玩具の整理、ま

・こと道具(特に廢物利用)

・花壇(春の花の準備も今から、是非用意したい)

・菜園 たとへ狭くとも是非用意して置きたい

・動物飼育 既も入手困難ながらも都合なつてせめて鳩、兎位の簡單なもの飼つて置きたい。

學年末を控へてどんなにかお忙しくいらつしやいましたでせうに、御熱心に御執筆下さいましたほうに有り難うございました。

園長先生であり、主任でいらつしやる先生方ばかりでございませので、流石に、責任あり熱の籠つて居られる御心配りでいらつしやると、恐縮に存じながら拜見致しました。一言一句皆尊いお言葉でございませのに、紙數の都合で少々省略させて頂いたところもございませが、この點誠にお申譯ないことに存じて居ります。何卒御赦し下さいませやう御願申上げませ。

編輯係り

萬葉に於て日本の感情を見る (三)

東京女子高等師範學校教授 石 井 庄 司

一、わらべ心 (つゞき)

萬葉に於て日本の感情を見るさいふ話の序説として、「わらべ心」さいふこを取りあげて來ましたが、もう一回だけ、このこに就て申し上げます。そして次はいよいよ本筋の話に進みたいと思ひます。

これまで幾首かの歌に就て、わらべ心さいふこが、萬葉の精神の重要な要素をなしてゐるこを見てきたのでありますが、このこは、私が勝手に申し出したのではなく、すでに江戸時代の賀茂真淵先生の繰りかへし言はれてきたこであります。

前にもあげました歌人柿本人麿が、石見の國から妻に別れて、京に上つて來るこきに詠んだ歌さいふのが、卷二に出て居ります。これは長歌二首で一つの對になつて居ります。その前の方の長歌の結末のこころに

夏草の 思ひ萎しなえて しぬぶらむ 妹が門見いもむ 靡なみけ此
の山

さいふのがあります。いさしい妻を國に残して別れて來るのですから、非常につらかつたらしいのであります。それで振りかへり振りかへりして別れを惜しんできたのであります。山を越え里を越えて遠く來たのでもはやわが妻の住居も見えなかつた。夏草のしをれるやうに力を落して、自分のこを偲んでゐるであらうと思ふわが妻の家のほろりが見たいから、此の山よ、低くなれさいふやうな意味であります。

此の結句に就て、賀茂真淵先生は、かういつて居られます。

「故郷出てかへり見るほごの旅の情、誰もかくこそあれ。物の切なる時は、をさなき願ごするを、それがまゝによめるにまごこのまごこなり。後世人は此の心を忘れて、巧みてのみ歌はよむからに、皆そらごこなりぬ」

仲々勝れた批評であります。殊に「物の切なる時は…」

(萬葉考二)

こあるのは、實に適評であります。事柄の切迫したまきには、人間はまるで子供のやうになる。そうして子供つばい願事も出す。それをそのまゝに詠んだのが「まごこ」であるといふのであります。「靡け此の山」さいつたまごこで、岩や石の多い山が、風に草木の靡くやうに、低くなるわけのものではありません。子供の駄々つこのやうな、無理な幼稚な願事ではありますが、それがそのまゝ表現されてゐるまごこが「まごこ」であるといふのです。そしてそれが萬葉集の歌のよいまごこであるといふのであります。まごこが後世の人はさういふまごこを忘れて、巧妙にのみ歌を作爲すから、皆偽事となつてしまふのである。——眞淵先生は、かう言つて居られるのでありますが、此の一言がもう萬葉集の全體にわたる大事な特色を言ひ盡くしてゐると思ひます。

春過ぎて夏來るらし白妙の衣ほしたり天の香具山しろたへ

持統天皇の御製で、古今の絶唱であるまごこは、皆よく承知して居ります。しかし此の御製の立派であるわけは、何處にあるかまごこになるまごこ、割合にわかつてゐないやうです。まごこが、此の御製に就ても、賀茂眞淵先生は、實にしつかりした意見を述べて居られます。眞淵先生の萬葉考の意見を引いてみませう。

「夏の初めの頃、天皇埴安の堤の上なごに幸し給ふ時、か

の家に衣を懸けほして有るを見まして、げに夏の來たるらし、衣をほしたりまごこ、見ますまにくゝのたまへる御歌なり。さては餘りに事かろしと思ふ後世心より附そへまごこ多かれぎ皆わろし。いにしへの歌は言には風流みやびなるも多かれぎ、心はただ打見打思ふがまゝにこそよめれ」

(萬葉考一)

要するに、持統天皇の御製の尊くありがたいまごこは、御覽あそばしたそのまゝを御詠みになつたまごこがよいので、後世の人の考で餘計なまごこをいふのはよくないまごこです。後世の人の考まごこは、例へば新古今集、或は小倉百人一首なごで御存じの「春過ぎて夏來にけらし白妙の衣ほすてふ天の香具山」まごこ御作のまごこなごを頭に入れて書かれたものでせう。この二つの御製は、どちらも同じだ、結局は違はないのだまごこ考へになる方があるかも知れませんが、歌を見るにはそんな粗らつばい見方では駄目であります。一語々々が大事な役目をするのですから、詳しく味はつてみなくてはなりません。

まづ「夏來たるらし」まごこ「夏來にけらし」では、大部違つてゐます。更に「衣ほしたり」まごこ「衣ほすてふ」では大變な相違です。萬葉集の方では、御目の前に衣がほしてあるのですありますが、百人一首の方では「衣をほすまごこ」まごこである……まごこつづいてゐます。現實ではなく、こしらへ事であ

り、説明であります。萬葉集の歌のよいところは、説明やこしらへ事ではなくて、實際であります。嘘や偽でこしらへ上げたのではなく、眞實であり、誠であります。そのありのまゝをよむさいふこころであります。

こころで、春が過ぎて夏が来たさいふやうなこころは、大人の心持で、子供ではないさいはれるかも知れません。しかしこころはそんな外形の問題ではなくて、かやうな季節の變化さいふこころに就て、強く心を打たれて、驚くさいふこころ、それが、「わらべ心」であります。今日の一般の人は、血みぎろな生活に疲れて、季節のうつりかはりさいふやうなこころには無頓着になり、神経が銷磨されてゐます。たゞ子供だけは、春がきたり、夏がきたりするこころに鋭敏で感歎してゐるのであります。萬葉集にはかういふ季節に就ての鋭い作を多く載せて居ります。

次に萬葉集の表現の特色に就て、特に「わらべ心」のあらはれさいふやうなものをみてみませう。

天の原^{あまた}ふりさけみれば大君の御壽^{みこと}は長く天足^{あまた}らしたり
これは天智天皇が御不例でいらせられた時、皇后の倭姫王の奉らせられた御歌であります。一首の大意は、天の原即ち空を遠くふり仰いで見ますと、わが天皇の御壽命は、長く十分であるさいふのであります。これは萬葉集の詞書に、天皇が御不例のとき、皇后のお詠みになつたものさあ

るから、かう解釋するので、さういふ歌の事情のわからないこころには、別の解釋が起きるかも知れません。しかも此の御歌は、右のやうな御事情であれば「御壽は長く天足らしたり」は、一つの願望である筈であります。こころがそれを現實の情況さして詠まれてゐる所に、ありがたいこころがあると思ひます。しかしてそれは、「わらべ心」の尊さであります。

子供にまつては、願望や未來のこころが、現在さして表現せられるこころが多いと思ひます。例へば行儀の悪い子供にでも「○○さんは、お行儀がいゝですね」云つてやれば、すぐよくなりませう。「○○さんは泣いてゐません」さいへば、泣いてゐる子供も泣き止みます。此の御歌にはさういふ「わらべ心」の表現に通ずるものがあり、一層痛切なものがあるやうに思はれます。「天足らしなん」さいつたやうな未來のこころではなく現實の斷定さして「天足らしたり」さ表現せられてゐるのであります。それが無限の感情を傳へてゐる所以なのであります。「わらべ心」は決して弱いものではなく、非常に強く切迫したものであるのであります。

次に萬葉集の想像性に就て考へてみませう。

天の川水^{みづかき}陰草の秋風になびくを見れば時は來にけり
卷十の秋の七夕の歌の中にあつて、作者は未詳でありませんが、柿本人麿集に出づさあり、恐らく人麿の作ではない

かこ云はれてゐる作であります。一首の大意は、天の川の水のほごりに生えてゐる草が秋風になびいてゐるのを見るに、七夕様の二つの星が一年に一度の逢ふ瀬をたのしむ時が来たさいふのであります。この歌は七夕傳説を詠んだものであります。しかし私は、この歌には何か生氣があつて、單なる傳説を詠んだものではないと考へます。

「天の川」とありますのは、勿論天上界のことです。しかし「水陰草の秋風になびくを見れば……」といふところは、全く川岸に生えてゐる草のそよ／＼と秋風にそよいでゐる光景であります。これは單なる想像ではなく實景であると思ひます。しかし次の「時は來にけり」は再び天上の天の川の兩岸に於ける二星のことゝなるのであります。天上のことゝなるさいふ具合に實に早い變り方です。それが少しも不自然でないのであります。かういふことは、「わらべ心」に理解の深い方には何等不思議さすべきことではないと思はれます。

例へば子供に話をするときには、飛行機なども機械の詳しい説明などよりもトン、スーといつた方が一層飛行機らしいといふことはよく言はれることであります。トン、スーといへばまた降ることにもなります。まことに單純であります。しかしこれがわらべの心の世界のまことであ

り、また萬葉集の歌の世界でもあります。

この前にも申し上げました人麿の「天雲の雷の上に廬せるかも」といふのも、地上が忽ちにして天上とさなる例であります。それで強い感が出るのであります。かういふのは、人麿の詩的想像力の特異な點と考へます。人麿の長歌では神武天皇の時代のころでも、さながら現在のころのやうに詠まれてゐます。昔と今と一枚になつた不思議な世界であります。それがごりも直さず「わらべ心」の國であります。そして愛國詩人としての入麿の強さでもあります。

萬葉集の歌の世界の根本的なところに、かういふ「わらべ心」といふものがあることをまつお話いたしましたので、次に、萬葉に見る日本の感情の種々相に就て、申し述べてみたいと思ひます。

(この項終り)

児童心理學は都合に依り本月は休載致します

編輯係

四月の保育

生活訓練

倉橋 惣三

保育の方法の基礎は幼児の生活にある。保育の究極の任務は訓練にある。生活を無視した訓練は、眞の幼児保育にならない。訓練を忘れた生活尊重は、正しい幼児保育であり得ない。生活訓練は、その正しい要諦をもとめてゐるもので、従つて、保育の最も本質的な要項である。

生活訓練を、方法の方からいへば、**禁**けるといふことになる。その結果に就ていへば**禁**げである。近時、國民學校でも幼稚園でも**禁**げが重んじられ來つてゐるが、即ち、他の言葉でいへば生活訓練の尊重に他ならない。

訓練といふといかめしい。しかし、要するに、自然の行動に放任しないことである。そこに訓練の意味の第一段がある。放任しない以上、外から指導してゆかなければならない。指導するには、指導方向が定まつてゐなければならぬ。同時に、外からの指導である以上、その指導には力——教育的權威——が伴はなけ

ればならない。それがなくては、方針だけあつても指導を實現することは出来ない。この方向の一定と權威とが生活訓練の意義の第二段をつくる。さて、そうして出來た結果は、つまり習慣である。禁のついた形である。そこに、生活訓練の意義の第三段があるのである。方向の一定は即ち、癖づけとなるし、權威は其の癖づけの破れたり、みだれたりするのを防ぎ、又壓へ、又律してゆく力になる。そこで一定の習慣が出来る。

新入園児は、生活訓練の點で三種類の型に分類出来るであらう。一、家庭に於て生活訓練をされてゐないもの、二、されてはゐるが眞に教育的に正しく訓練せられてゐない子、三、既によき生活訓練をうけてゐる子。

擔任は、このそれ々に對して、適切な處置を採らなければならぬ。一類と二類とに對して大に苦心のいるのは勿論である。しかも、三類と雖も、それは家庭生活の訓練で、幼稚園でこそ與へられる生活訓練ではない。そこにやつぱり、大きな苦心がいる。幼稚園でこそ與へられるといふのが、**社會生活訓練**であることは言ふまでもない。

更に、家庭で一應の生活訓練を受けてゐる子どもが、幼稚園では、もうそのまゝにして置いて安心のものかといふと、必ずしもそうでない。生活が全く變つて來る。そこに、家庭といふ狭い生活、社會的作用を受くることの少ない生活で出來てゐる習慣が、みだされてゆくことがあるとしなければならぬ。殊に、幼児が

初めてぶつかるあの社會生活は、相當雜然たるものである。幼児の生活に動搖の起るを免れないであらう。

但し、此の動搖は、習慣の上からは好ましいことではないが、必ずしも悪い結果をのみ持ち來すとは限らない。そこから、新しい訓練の機會も捉へられるのである。新入園児の生活訓練の第一要義は、こゝにあるともいへる。

さて、以上を基本論として、實際に入る。もと／＼生活訓練であり、常に生活の全面に互るものであつて、局部的に考へられるものではない筈である。しかし、そう、一時に全面をねらふことはむづかしいから、段々に進めてゆくとして、訓練のねらひどころを立案する必要がある。系統的保育案の實際に擧げてあるのは即ちその立案であつて、つまり、先生の方の計畫である。幼兒の方は、もつと／＼廣い生活をしてゐる。それにつれて、廣い訓練がたえず行はれてゐなければならぬ。たゞ、その中で、その時々、擔任の計畫の重點をどこに置かうかである。各週に、たゞこれだけの生活訓練をしてゐればいゝといふやうな譯のものでは勿論ない。そんなことを考へる人が萬一あつたら、それは、訓練をしてはゐるといつても、生活訓練をしてゐるとはいへない。この點は、こんな要項のやうなものを擧げた以上、假りに誤解ないやうにして置く必要を感じる。

そこで、四月の欄を見ると、新入園早々なか／＼いろ／＼のことがある。が、要するに、幼稚園といふ新しい生活へならせて

ゆくことに他ならない。従つて、まだ、ほんどうの意味で訓練を訓練としてする程のことではなく、あの、謂はゞふら／＼してゐる子どもの心と行動とを、好ましい方へ向けてゆくだけのことであらう。入園早々訓練としてし過ぎると、却つて、幼稚園生活に――生活の部分々々でなく幼稚園といふものに――慣れることを妨げたりすることにならう。

従つて、大體、一々こちから仕向けてさせてゆくことで、そのさせ方が一定してゐれば、日から日へ、週から週へ、つまり訓練されてゆくのである。たゞへば「朝會つた時の挨拶」の如きでも必ずそうすることゝ言ひ聞かせるといふよりも、先生が先づする。次の朝もする。次の次の朝もする。いつの間にか、幼兒の方からする。といつた風に進むのであらう。

それから、幼児に正しく生活させるといつても、個人的にさせると限らないことが多い。幼稚園の全體的生活のきまりといふものが先きにあつて、その中で習慣づけられるといふことが多い。假令は用便の正しい習慣の如き、幼稚園のさだめとして、大體の時間的規律が立つてゐる時、幼兒達は、自然とその規律に従つて習慣づけられるのである。歸りの仕度く、辨當の時のことなど、いづれも、みんなでする中に出来てゆく訓練である。たゞ、その中で、みんなといつしよになれないものには個人的訓練の手加減が必要にならう。

このみんなといふことは、幼稚園の生活訓練の一重要點である。個々の行動が、そのものとしてよく出来るか否かといふことの外に、みんなといつしよにしてゐながら、みんなといつしよに

出来ないこと、いつしよにしようとしないうこと、いつしよでなくて平氣であること、更にいつしよでないことを楽しんでゐるかの風のあつたりすること、こゝに却つて重要な訓練上の問題があるのである。

但、これを以て眞に一齊劃一行動の訓練とのみ解してはならぬ。進んでいつしよになれるかならぬかの點で、つまり、社會性訓練の最初の出發點となるものである。一齊に揃ふかどうかといふ形式ではない。そういうふことは、もつと後の問題であらう。

入園早々訓練されるといふと、なんだか幼児に無理を強ひるかの感をもつ人もあるかも知れない。その訓練が無理のものだつたら無理であらう。しかし、幼児は、訓練されることによつてこそ、眞に幼稚園生活の快さを味はせられるであらう。幼児は案外生活のきまりが好きである。生活訓練を楽しく感じさせること、これこそ、新入園児訓練の第一の要點であらう。即ち新入園期によき其の時期に順序正しきといふ意味でのよき訓練を受けることは、後の幼稚園生活全體の訓練を受け易からしめる事になる。入園直に訓練の強制をするのが、いけないと共に、入園早々だからといつて、無訓練の時期の如く経過させるのも、最もよくない。

但、斯うは申すものゝ、實際はどんなに骨の折れることかと敬意を表す。しかも亦、それだけに、新入園當初こそ、保姆諸君にとつても、年々の最好訓練期であらう。

自由遊戯

上遠文子

はしがき

毎朝、「おはやう」と幼児を迎へる。子供達の自發活動は自由遊戯^ビとなつて、私達におかまひなく働きかける。働きかけられた私達はそれに一生懸命反應して幼児の生活に飛込んでゆく。

幼児の生活全部であり、保育の基礎である自由遊戯を、私達はともすると保育の一部分と見て、保育案の片隅にかたづけてしまひ、學校の放課時と同じものに誤解しがちである。

私達はその現れた自發活動を上手に指導し、又種々な遊戯も此方より提供し、幼児の生活をより楽しく又より豊富にしてゆきたい。そこで、この貴重な自由遊戯をどう指導し誘導していつたらよいかと云ふに、私共は先づ自分を幼児の氣持に引もどし幼児の世界に入りこみ、それから年齢、季節、場所によりそれ／＼工夫してゆかねばなりません。理論は理解出来る。しかし實際接してみれば、そこに疑問あり、煩悶ありなので、充分工夫し研究し經驗を重ねてゆかねばならぬわけでありませう。

さて、具體的の保育案に入つてゆく。

四月櫻の花も春風にそる／＼ほころび始め、新しい園児を迎へる。幼稚園生活に馴れぬ幼児、活動力のまだ乏しい幼児を前にして、私共は幼児の活動力を引出して、自由に自分で表現出来る様に導いてゆく事を考へなければならぬ。其處に保姆の知識と手

腕を要するのであります。

人形遊び 元來幼稚園は家庭の延長型のものであるが、入園と共に社會といふ團體生活にはじめて入つて來た幼児には、子供ながらに一種の不安も抱かれるであらうからそれに對しては、特に家庭延長を強く感じさせる事が必要でせう。「お家にあるのと同じ様な人形もある」と思ふ時、幼児はそこになごやかな親しみを感じて來るのです。ですからこゝに用ふる人形も一般に家庭で幼児が抱いて遊んでゐる布製のくるみ人形がいゝでせう。唯、抱いたり、寝かしたり、お散歩と一緒につれてあつたり、持つて遊ぶ程度でよい。大きさは隨意ですが、餘り小さいのより、寧ろ大きい位の方が喜ばれるであらませう。

繪本よみ お天氣は好いが、お庭に出るには少し早い、皆を集めて御本よみをする。唯機械的に文字をたどつてゆくだけでなく、ゆつくりと、聲も大きく、わかりやすい様によむ。そして時々々は本を離れて幼児の記憶を呼びおこしながら、お話し合ふ様にするのがよいと思ふ。例へば、乗物の本を讀んでゐる。「こんなのに乗つた事あるでせう」と問ひかければ、幼児は皆得意になつて「ある〜」と連發する。その中に自然と幼児の心もほゞけて來、くつろいで行くのである。繪本の選擇はいふまでもなく繪を主としたもので、例へばキンダーブックなどその一つであらう。

砂いちぢり いろ〜の砂遊び道具もあるが、先づお杓子シヤモジを與へるがよからう。場所に應じ種々工夫もあらうが、何かこの様なものを用意して幼児に銘々つかはせる。サラ〜と銀砂のお山

が出来、川が出来。初めの中は先生中心に、川に積木の橋をかけたなり、トンネルを掘つたり、次第に規模を大きくしてゆく。

がらんこ お空にとどくかと思はれる程に氣持よく動いてゐる。僕も乗りたいなあど先刻から睨んでゐる。大抵はまだ一人で漕げないから、此方で押してやる。「しつかり落ちぬ様につかまつて下さい。動きますよ」といつてやるが、體がまだしつかりとしてゐないし、馴れないために、いきなりきつく後から體を押すと、すぼんとぬけて落ちたりする。始めは繩をもつて前後にゆする程度がよい。そしてだん〜と、ゆりかたを大きくしてゆく。又この遊びでは、次々と自分の番の來るまで、危くない所に一列に並んで待ち、幾つづ〜と回數を限つて順を守る習慣をつけることが訓練上大切であります。

かごめ

かごめ かごめ

籠の中の鳥は、いつ〜であふ

夜明の晩に鶴と龜とすべつた

後の正面だあれ

これは誰れも知る昔からの遊びである。圓をつくり、中に一人目をつむつてしやがむ。この歌を歌ひつゝ、まはる。最後の「だあれ」で皆しやがむ。中の人は自分の後にあたる人を手でさわつてみたりして誰だかあてゝ其の名をいふのであります。

ま〜ごと 前の人形遊びを延長させて。ごご、ま〜ごと道具等を用意する。あまり複雑のはまだ出来ぬから、木の葉や、草の御馳走をつくつて皆で食べたり、又御馳走の買出しに出掛けたりす

る。時節柄女中は使はないがいゝ。赤ちやんをお蒲團にねかすにしても、

御馳走を本當の様においしく戴くにしても、終始先生が正しい仕方をして見せて指導してゆかねばならぬ。又時には、年長組のおまゝごとのお客様にさせてもらひ、皆で出かけてゆくのも幼児同志お互ひに教へられるであります。

枠のほり 乗つてみたいはみたいが、いざやるとこわいといふ子供も少くない。しつかり落ちついて、あせらず少しづつ登らせる。腰の落着かぬ幼児は下からおさへてやるのもいゝ。高く登つた幼児は、お友達よりも、先生よりも、幼稚園よりも高くなつたといふ事ですつかりうれしくなつて「先生よりも高い」などゝとて喜ぶ。

次第に馴れるに従ひ自信を得て、枠の中で鬼ごつこをしたり種々の遊びを考へ出して来る。

鬼ごつこ 皆様のよく御存知の普通の鬼ごつこである。しかし中には負けた人がつかまへる方になり、勝つたものは逃げればよいといふ事が理解出来ぬ幼児がある。それも次第にわかつて来るであらうが、やはり始めは先生が鬼になり「そら〜つかまへますよ」といつて追駈けて行つた方がわかり易いらしい。結局は鬼ごつこことなるのだが、はじめは追ひ駈ごつこ位の程度でもよいと思ふ。

かくれんぼ 始めは、かくれる範囲を狭くあつかふ。例へば部屋の中とか廊下とかである。かくれ方も年長組でする様に複雑な所にかくれるのでなくて、ちよつとかくれる程度がよい。鬼は一

人でなく二三人づゝすると心細くなくてよいであらう。

積木 これは室内で用ふる積木で、正方形、長方形、三角形の積木。色など塗つてないのがいゝ。先生が高く積んでみせたり、お家、自動車、汽車等作つてみせると、幼児も真似し種々作りはじめ。馴れて来ると、製作は次第に静的から動的に移り、汽車がはしつたり、機關銃から弾がとび出したりする。そういう時に、手荒に積木をあつかはぬこと、一人でよくばり取らぬこと。訓練上注意したい點である。

こま廻し 自分で模様を畫かせ、切抜いてやつてコマを作つてやる。くるつと廻すと、赤、紫、黄、緑と五色の線を畫いてまわる。「やあ、僕の作つたコマがこんなによく廻る」と喜ぶ。恐らく最初の喜びであらう。やがて「どつちが長くまわるかなあ」と競走させてみたりしだして。コマ遊びに夢中になる。

滑り臺、トンネル遊び 幼少の子にも比較的的安全で、その點、すべるといふだけの面白さしかないから、其處を此方で興味豊にさせねばならぬ。長く織いた汽車に先生は途中手でトンネルをつくる。又は踏切りになつて止れ、進めと信號したりしても面白く遊べる。中には急行列車や故障車も出てくる事であらう。

砂場遊び 一週目の砂いちりから、次第に各自の工夫も出来て来て、相當の所まで發展してゆく。砂場の積木で飛行機が出来ると、お舟が出来ると、お山の上には木が植り、お家も出来る。子供の世界は次々と展開し工夫されてゆく。私共はそれを手傳ひつゝ指導してゆかなければならぬ。

はな一もめん 始めは年長組の幼児と共に遊ぶ事にする。同人

數二列に別れて相對し竝ぶ。歌にあはせて、互ひ違ひに出たり、引つこんだりして、相手を遊びその人が引つぱりつこをする。中々勝負のつかぬ時はじやんけんできめる。その歌は

勝つてうれしい花いちもんめ

負けてくやしい花いちもんめ

ふるさとまどめて花いちもんめ

〇〇さんとりたい花いちもんめ

他にも種々違つた言葉もあるでせうが一般には大抵この言葉を用ひてゐる。次第に相手をとられて人数が少くなると、その方は買けになるのである。「〇〇さんしつかり〇〇さんしつかり」と應援が又一段とこの遊びを引立てる。

遊 戲

古 澤 靜 子

四月の遊戯室に於きましては、先づ合圖に依る起立、着席。圓形や縦横の列を作る。楽器や先生の手拍子に合せて遊戯をする。或は遊戯室へ出入に際しての規律に至るまで、凡て「お友達と揃つて」の觀念のもとに行動をおこし度いと思ひます。

部分的な個々の訓練よりも、團體行動を起し得る爲の、基礎的訓練を行ふ事を主眼點に致し度いと思ひます。

何しろ入園後間もない頃でありますから、その材料や計畫に於きましては、出来るだけ簡單なものにとゞめ、幼兒の遊びの中、主要素をなしてゐる。

〇歩くこと
〇駈ること
〇とぶこと

の三つの基本的動作の取扱ひより
二、三の平易な遊戯へと發展の徑路をとつて見ることに致しました。

〇歩くこと

一體正常歩には如何なる要素が必要であるかと申しますと、それは最初、踏出される脚、即ち振動脚の力がよく抜けてゐること。足が最初地面に觸れる際、膝が伸びてゐること、足尖が概ね歩く方向を向いてゐること、體が眞直に保たれてゐること、臂が肩から自然に振れること、等と云ふことが出来ませう。

歩行は現代の人類にとつて最も自然的な運動で、全く生得的な運動でありますから、特に練習の必要など無いわけでありませんが、不自然な生活によつてその歩態も歪められ、或は歩態が歪められるが故に、生活の一部に不自然を及ぼす爲、幼兒の中から、特に歩行訓練の必要を生じるものであります。

然してその訓練は、單に歩、そのものゝ理を尊重する事は勿論であります。入園當時の不完全な音樂的訓練と相俟つて、ピアノオルガン手拍子或はその他の諸樂器に依り、遊戯として興味多く楽しく取扱ひ度いと存じます。

では、二、三の例を擧げてみませう。

お室の散歩 曲は行進曲を用ひます。

一列に並び、或は二人づゝ手をつないで散歩に出かけませう。お室の隅から隅まで眞四角に歩いたり、まん丸いお月様が出来るまで圓く圓く歩いたり、お室を對角線に横切つたり。

軽く手を振つて歩けば、前の方を押し倒したり、つゝいたりする事はないはず。散歩ですから、床をドン／＼響かせたり膝を曲げたり、あまり緊張して、鉛の人形の様にならない様、お背中を伸ばして、のんびりと歩ませう。勇しい行進曲に合せて歩くのは、何とよい心地でせう。

之に拍手を加へ又は、臂を前横上に擧げることに加へるだけでも、非常な變化を感じます。靴の紐がほどけた方は、一寸列外に出て直して下さい。

ひらいた／＼(日本幼稚園協會發行 幼稚園唱歌選集所載)

「ヒライタ／＼何ノ花ガヒライタ、蓮華ノ花ガ開イタ、ヒライタト思ツタライツノマニカツトボンダ。」

赤、青、黒とり／＼の洋服につゝまれた坊ちゃん、嬢ちゃん、皆さんは綺麗な蓮華の葉の一枚々々。あの美しい蓮華の花の様に開いたり閉ぢたりするのです。さあお手々をつなぎませう。

「開いた／＼何の花が開いた。」
連手して圓を左に廻ります。

「蓮華の花が開いた、開いたと思つたら。」
同様に右に廻ります。

「何時の間にかつーぼんだ。」
連手のまゝで圓心に入ります。

これには、もう少し複雑な動作がついて居りますが、よく歌はれる歌でありますから、歌に合はせて自由に、圓の左右廻り、内外へ出入りの歩き方の練習に致します。

ことろ (日本幼稚園協會發行「遊戯の歌と曲」所載)

「ふるさとまどめて花いちもんめ」
「誰かさんとりたい花いちもんめ」

窓の外から賑やかな聲が聞えて参りますが、こゝでは、ピアノに合せて前進後退の遊びをいたします。

それは花いちもんめと同じ様に、二組に分れ、各組連手して向き合ひ、兩組同時に三步前進、三步後退を二回繰返した後、各組一端の者が中央に出、片手をつかつてひきくらをするのです。

その時、横の線が、だら／＼鉛の様に崩れない様に。三步前進した時、四歩目の足のつま先で前足の後の床を一寸打ちます。背が揃つて出来るまで、ひきくらはおあづけにして、何度も／＼繰り返させう。

さて次に
○駈ること。

幼児の日常生活に絶えず繰り返される、自然運動の一でありますから、之も歩きと同様、個人的動作より全體統一へと發展させ遊戯的に取扱ふことに致しました。一例として

汽車が走る(日本幼稚園協會發行「遊戯の歌と曲」所載)

銘々が汽車の二輛で十人乃至十五人を一本の長い汽車にいたします。指を開いて伸ばし、肘を曲げ、用意が整つたところで發車、先頭の機關車は右手を高く上げて合圖をすると共に煙をはいて動きます。

始はシユツーシユツーシユツーシユツーと間をおいて一歩づつ、ゆつくり動いて居りますが、伴奏が速くなるにつれ、車も速度を増して漸次、かけ足へと移ります。途中には橋(繩とびの繩

を二本並べる)があり、トンネル(二人で手をとつて高く上げた下をくぐる)が有ります。脱線して轉ばない様、氣を付けませう。前の車輛に追突しては大變です。速度を増した汽車も驛が近づくとつれて速力をおとします。驛に着いた時驛夫が「○○驛」と呼びます。かけ足が、主ですから、伴奏は、なるべく長く走れる様に弾くことに致しませう。

蝶々(日本幼稚園協會發行「幼稚園唱歌選集」所載)

全生、圓の内側を向いて腰を下し、兩手を顔の前に入れて花の形を作ります。二、三人蝶々になつて、兩手を伸ばして横に舉げ、羽の様に、上下に軽く動かしながら、圓の外側をなるべく小股に靜かに、すり足で走り、自由に花にとまります。

蝶々さんに、とまられた花さんは立つて蝶々に代りませう。ピアノに合せて飛んで下さい。そして姿勢がよく真直ぐ地上に伸び、一番大きく開いたお花にとまつて下さい。

次にもう一つ

おとがごと

絶え間なく歩き、絶え間なく駈けてゐる子供達は、又スキップといふものをよく致して居ります。あの輕やかなスキップの定義とでも申すならば、右足を前に出して飛ぶと同時に、左膝を屈けて前に舉げる。この動作を一呼間にし、連続して行ふ。と言ふ様な面倒な事になりませう。がまあ實際そのまゝで、背を真直に、頭をおこし、手は腰にとつても、又は振つても、樂な氣持で、とぶだけとばせたいものです。

始めの間は、この様に旨く足を運ぶ事が出來ないで、一方の足

の前に出し、後の足を之にひきつけながら駈け出す様な事も御座いますが、横や前に、補助者をつけて、足のリズムを感得するまで何度もく復練習することにしたませう。歩く事を覺えた赤ちゃんも、轉んでは立ち、二、三步進んでは轉び、お母様のお手に、攜つては又歩きして、見事にあんよの喜びをあらはす時のやうに、

補助者になつたお友達も、二人で手を組んで、時々早く、或時は、片足づゝゆつくり飛んでみて下さい。

スキップでも又、色々な遊戯が考へられます。

兵隊ごっこ 二拍子の曲をリズムカカルに。一列に並んで御覽なさい。兩手を前に舉げてぐんと伸ばして、手綱をぎゆつと握りませう。さあく進軍のラッパが響き渡りました。僕たちは強い強い日本の兵隊さん。胸を張つて、忘れない様に手綱をとります。スキップで駈け出すのです。おしまひまで、この通りに並んで、前の方に突き當つたり、お馬に振り落とされたりしない様、御安心。パカパカく走りませう。

では今度は、お手を横に舉げて御覽なさい。何になりましたか？ え、飛行機ですね、翼は先の方まで、しつかり伸ばしませう。

日本の飛行機。勇しい飛行機。前に一臺、後に二臺と三臺づゝ組んで隊を作り、銀翼を連ねて大空をかけるのです。壯觀なものではありませんか。

可愛いこまどり(日本幼稚園協會發行幼稚園唱歌選集所載)

横に舉げた翼を、そつと上下に振ると、雀になります。鳩にも

なります。こまざりにもなりません。

始め八呼間、駒鳥さんは羽を擴げて羽搏きしながら、スキップで、好きな方向へ飛んでゆきます。可愛い駒鳥さん、高いお室を飛ぶのですから、羽をよく伸ばして皆んなと一緒にピアノに合はせて飛びませう。無闇に飛び出すと地上に落ちないとも限りませぬ。

次四呼間、その場にしゃがんで、手を胸前で組合せ、頭を左右に四回曲げて振る。小さな駒鳥さん、木の枝にとまつたら、「ボン」「ボン」と云ふ音に合せて澤山お頭を振つて下さい。見て御覽なさい。嬉しそうなお顔をしたお友達のお顔がよく見えますか。

次四呼間、両手を後に伸ばして向き合せ、横に振る。元気よく羽ばたきを致しませう。隊形は自由に致しますが、時々、一列に並んで飛んでも面白いでせう。

スキップと、頭の運動と、手の動作に依る簡単なものですが、伴奏に於きましても、動作の變り目には、アクセントをつけ、又、スキップの速度も適當に加減したいと思ひます。

この様にして次第に、音楽と共に、お友達と共に遊戯をする愉快さも増して参りませう。今日は、皆さんの大好きなマ、ゴトを致します。

マ、ゴト(「幼稚園唱歌選集」所載)

「マ、ゴトしませう。仲よくしませう」

腰を下して坐り、左手を前に出し、右掌を横に向け、物を切る様にして左手の上を軽くたたく。

左手は、^マ組板。真すぐ伸びて居ります。庖丁も、よく切れる様です。體が曲つてゐては、お野菜も曲つてしまひますよ。

「お芋に大根」

右手で右傾前を指示し、次に左手で左傾前を指示す。

「御馳走出來た」

右掌をかへして傾前に出し、次に左掌をかへして傾前に出す。

(どちらの手を先にしても可)

本當に、美味しそう。高くあげて見せて下さいな。

「ポチ」も

両手を胸前で曲げると同時に飛び上る。

ポチは勢よく飛び上りました。嬉しそうですね。

「蝶々もお客様」

両手を横に上げて上下に振りながら、各自の廻りを一廻りする。

蝶々さんもお仲間入り。楽しそうに羽を擴げて、飛んでゐます。

隊形は、自由に散つても圓形でも或は二人づゝ向ひ合つてもよいでせう。

チューリップ(「幼稚園唱歌選集」所載)

「咲いたく、チューリップの花が」

両手を顔前上げて、両掌を向き合せて花の形を作り、各自の廻りを一廻り、八歩する。どれもこれも綺麗なチューリップ。一

廻りする間、凋ばまないで下さい。

「並んだく赤白黄色」

そのまゝ、しゃがんで立ち、二回繰返す。花壇のチューリップ

の様な可愛いお花が、お室にも咲きました。身體が地面に着くまで低くしやがみ、元氣よく眞直ぐ伸び上りませう。規則正しく正確に立つたりしやがんだりする事は足の運動であると共に全身に作用致します。

「どの花見ても」

同様、花の形を保つたまゝ、駄足で各自の廻りを一廻りする。

「綺麗だな」

内心を向いて足踏みと共に拍手する。

始めから終りまで、綺麗な花である事は、相當努力を要するこゝとでせう。

これは、一人一人が花であると共に、全體が大きな花でありましたが、今度は一列のチューリップ兵隊になつて見ます。

即ち四人一組で横隊に並びます。

始めの動作は同様、「チューリップの花が、」の時に一齊にしやがみ、「竝んだく」から、順々に一人づゝ立ち上ります。

或は四つの列を作り、前の様にして、一列づゝ立ち上つても面白いでせう。

大體この様にして、歩くこと、駈ること、スキップすることより、簡単な動作のものへ導き、基礎的動作を通して、團體的行動への準備としたので御座います。

観

察

清水光子

幼稚園に來たばかりの子ども達にとつては何もかもが新しいこと、新しいものばかりできつとそれだけで日々一ぱいであらう、それだから觀察が出來ないといふわけはないし、だからこそその新しく受入れたものを整理したり、観る習慣へ導いたり、よりよくみるやうにしたりして助けて、ものをみる本當の態度を斯うした最初の機會に養ふべきだと思ふ。

幼稚園各室、庭、國旗掲揚場

入園式がすんで今日から幼稚園で遊ぶといふ日皆で揃つて幼稚園の中を見てまはる。附添から離れない子どもは附添と一しよに、やうやく離れたやうな子どもは手を引いて、幼稚園のおへやを方々見てきませうと誘つて、話し乍ら歩く。お玄關では靴箱があるなら出し入れのし方をやつて見せて、誰さんはどこ、こゝね、といふやうに早く銘々の場所を覚えるやうにする。帽子掛けでも同じやうに帽子を落ちないやうに掛けませうといふ注意と一しよに場所を知らせる。それから年長組の室とか、何の組の室、先生の室、遊戲室、といふやうに見て歩く。その時その室の位置や特徴も話し乍ら見て歩くやうにする。たとへば私達の室から一ぱん遠いとか、何番目の窓とか、向ひ側とか、左か右かとか、窓がこゝだけは三つあるとか、戸に模様があるとかいふ程度に。そして遊戲室ではそのまゝ年長組の遊戲を見せて貰つたり、一しよに入れてもらつたりしてもよい。

お元氣がよければお庭へ誘ふ。出口では履き物の始末に氣をつける。ブランコ滑臺などの遊具はすぐにも乗りたい子どももあるけどみんな一まはりしてからといふことにしておく。

幼稚園の國旗掲揚場には言ふ迄もないけれども嚴肅な氣持を持たせたい。園によつては毎日その下に集ることもあらうし當番で順番に掲揚することもあらう。その様な事を話して、青空にひるがへる日の丸を仰いでの氣持を共に味ふ事にし度い。尙その時今日はこちらから風がふいてゐるのね、といふ注意を一寸し度い。

お庭の木や草の芽と花

始めにお庭を廻り歩いた時にも木や草、花について注意をむけるのだけれど特に芽を見るのに外へ誘つて見て歩く。芽を見に行きませうといふのでなく何といふことなく庭を歩き乍らこんな可愛い、芽が出てゐるのをみつけたといふ風に、まだ固いのや、もう葉を出しかけてゐるのや、赤いのやみどり色のや光つてゐるのや毛ばだつてゐるのなぞみつけてゆく、そしてこんな可愛い、木や草の赤ちやんはこれから葉になつたり花になつたりするのであること、大事にしてふんだりむしつたりしないやうにどの注意をし度い。又此頃は色々の花が咲く。櫻、椿、桃、その他の木の花や花壇の花が次々に。庭にあるのは咲いてゐるまゝを眺めてもよし一枝花瓶に活けてかざつてもよい。櫻がお庭になければ花瓶にだけは欲しい。けれど花瓣が五枚で葎が如何なつてゐるといふやうなことは言はないで櫻の花、きれいな、と言つてみる程度にする。椿でも同様であるがこれは花が大きいから切紙や寫生の材料にいゝし、さうすれば自然に花びらや葎の様子がよくみられる。散つた花びらはひごにさして集めて遊んだり、まゝごとの御馳走

にする。こんなことで觀察が出来るかと一種不安な心持がすることもあるが、これでよいのでこれ以上ではゆきすぎると思ふ。又斯うした間にもこちらの心がけと態度で子どももの科學心へみちびく機會が澤山あることゝ思ふのである。

摘草

幼稚園の一日を摘草に過すのは誠に楽しいことである。都會の子ども達には是非こんな機會を度々持たせてやり度い。草は場所によつて種類があらうからどれをと決められないが何といふ草といふことを知つてゐてこれは何といふ名を教へる。なづかなら實をすり合せて音を出して遊ばせてペン／＼草ともいふことを話したり、よめなはよく似た葉の毛ばのあるのと區別して食べられることを話したり、もちぐさはおもちに入れることを話し、つくしのお母さんすぎなでつなぎめのでつこをしたりする。大岩先生のおかき下さつた様に花壇を用意しておいた中に根ごとぬいて來たすみれ、たんぽぽを子ども達の好むやうに植ゑさせやう。又摘草で氣をつけることはたゞむやみに摘んだり、ちぎり取つたりしないで後始末をきちんとしてやることである。取つた草を植ゑるとか、花びんに挿すとか、まゝごに用ひるとかして無駄に捨てないやうにし度い。

種子蒔き

蒔く種子の種類や土ごしらへ等準備については大岩先生が詳しくおかき下さつたのでそれによつて子供と一しよに種子をまく。

まだ小さい子ども達のことであるから斯うしてまくのよといふ様にやつてみせて、種子をみんなに少しづつわけてどの子どももまくやうにする。又自分の鉢、自分の庭を持たせることはよいことであるから組の庭の他に銘々のを持たせやう。都會地で庭のない所では木箱でしやう。何月何日に何の種子蒔きをしたかを黒板のすみにも書いておき、又毎日子どもと一しよに水をやつたりして氣をつけ、芽が出た日や葉がどう出た時などみんなに知らせて注意するやうにする。

近所のお宮

天長節、靖國神社例大祭があるこの頃、近所のお宮では聖壽萬歳を祈り、皇軍武運長久祈願が行はれる。一日子ども達と一緒に詣りしやう。身をきよめ神前に額く作法を教へ乍ら祈る。その言葉は本誌二月號倉橋先生の御記事にあるやうにし度い。

談話

志村貞子

桃太郎、花咲爺、舌切雀

一年間、或は二年間、心をこめて慈しんできた子供達が入園當初とは見違へる程大きく、立派になつて、間もなく國民學校へと集立つて行きます。子供達の新しい門出にあつて、その前途の限りない幸福を祈る先生方の御心持は、亦同時に、四月から新たに授けられる子供、新入の園児達への種々細やかな御心づかひになつて現れて來ることと思ひます。誠に有難いことです。皆様之行届

いた御心遣、御準備に對して今更私のやうな者が存じますが新入園児を迎へての「おはなし」に就いて考へてみようと思ひます。

幼稚園の「おはなし」は先づ「おはよう」の御挨拶に始ります。と申しますのは、「おはなし」は言葉の生活であるといふことです。また同時に心の交流であるといふことです。

「靖子ちゃん、お早うございませう」

「次郎ちゃん、お早う、こちらへいらつしやいな」

「先生、お早うございませう」「おや、お早う、随分お早いおね」

ニョ／＼笑ひながら言ふ子供、元氣よく大聲で言つて飛びついて來る子供、部屋の入口できちんと御辭儀をしていふ子供、いづれにしても、よく來ましたね、お早う」と迎へる先生の心持に變りはありません。「おはよう」といひ、「おはよう」と返す心からの朝の挨拶。先生と子供との心の暖い交流です。先生への親しみ、幼稚園への親しみはこゝから始まるのではないでせうか。「おはなし」はこの「おはよう」のやうに、私共が、子供達が、日常行つてゐる平凡な言葉の生活です。平凡ながら、豊かな、暖い生活です。子供同志の話、先生と子供との話、きかせたり、きいたり生活です。平凡なことですが、多くの子供達の中にはこの「おはなし」の中になか／＼入れない子供も居ります。すべての子供に豊かな「おはなし」の生活を享けさせるためには、先生の細かな心遣ひとたゆみない努力が必要でありませう。この「おはなし」、平凡ながら、深く、深い言葉の生活についてこゝにそのすべてを述べることが出来ません。こゝでは、その中の極めて限られた部分、即ち、先生が話して聞かせる「お話」について考へてみませう。

子供に聞かせる話と限りますと、先づその材料を選ぶことが大切な事柄です。それについて種々心すべきことがありませうが、こゝでは便宜上、充分な注意を以て選ばれてゐる日本幼稚園協會發行の「改訂版系統的保育案の實際」によることに致しました。これによりますと、四月の保育案には談話として「桃太郎」「ゴキウ」「富子さんの風船」「國旗の話」「白兔」「大きな球のはなし」「舌切雀」「猫のお見舞」「コロリ爺さん」「花咲爺」「平三さん榎三さん」「牝鶏と猫」「天長節のお話」「靖國神社の話」が選ばれてゐます。この一つ一つに就いて述べることは紙數も許しませんので、こゝに「桃太郎」「舌切雀」「花咲爺」の三大童話を取り上げてみませう。この中、「舌切雀」と「花咲爺」は人形芝居として扱ふやうになつて居りますが、こゝではその前の形、童話としてのそれについて考へることにします。

「桃太郎」「舌切雀」「花咲爺」といへば、私共が子供の頃、母や祖母からたび／＼聞いた懐かしい話です。それは、今の子供達にとつても同様、お父様、お母様から繰返し話していただいた親しみの深い、お話です。桃太郎さんも、犬も、猿も、雉子も、雀も、お爺さんも、皆、子供達の仲よしのお友達なのです。この子供達に極く親しい、今迄に聞いてよく知つてゐるお話が保育案の中に、四月のお話として三つながら、すべて取り入れられてゐるといふことは、大體意味のあることだと思ひます。「太郎さんのやうに元氣で強い桃太郎さんのお話をしませうね」といへば、もうお話をものがびつたりと子供達と一つになつてしまひます。「知つてるよ〜」「さう、一郎さんは誰方にお話していただいたの」「僕、

お母様」「私はお祖父様よ」とこゝでお家の方々が生とのおはなしの中に出て來ます。子供達にとつて最も親しいお家の方々のお話をするのがどんなに嬉しいか、どんなに無口な子供の口を、心をほぐれさせるかは御經驗深い皆様のよく御存知のことと思ひます。また兎角埋れがちな子供の發表力を正しく發展させてやる援けにもなりませう。つまり、先に述べました「おはよう」が先生と子供との心の交流となりませうに、桃太郎さんを通じて、雀を通じて、子供との言葉の生活、心の交り、親しみが深められるのです。それは、僕も、私も知つてゐるお話だからです。それを先生が話して下さるからです。

桃太郎の話は明朗、潤達、而も優しい我が國民性のよくあらはれた話です。この話の構想が日本國民古來の性情を表現してゐるのみならず、この性情を根底とする、話そのものゝ構成もまたすぐれてゐると思ひます。即ち第一に、生々とした變化に富んだ筋の運び方です。強い線でくつきりと描き出されてゐる一巻の繪巻を見るやうな感じがします。ですからこれを話す時は、單純に端的にぐん／＼と線を強くすゝめることで、敘景のくだ／＼しい描寫のための修飾的言辭等で筋の運びをこはさぬことが肝要だと思ひます。第二に、この話のもつリズムの味です。全體を通じてのリズムは筋の運び方の緩急よろしきを得るところにあると思ひます。更に細部のリズムについていへば、例へば、「向ふから桃が流れて來ました」でもわかりますが、「向ふの方から大きな桃が、ドンブラコッコ、スッコッコ、ドンブラコッコ、スッコッコと流れて來ました」といへば心地よいリズムにのつて、本當に大きな桃が

流れて来るやうではありませんか。否、先生自身、子供自身、桃になつて流れてさへ來られるのです。また、犬、猿、雉子が順々に出て來て、「桃太郎さん、桃太郎さん、お腰につけたものは何ですか。」「日本一の黍團子。」「一つ下さい、おともをします」といふ繰返しのリズム等も忘れてはならないところだと思ひます。第三に子供の豊かな想像力に強く訴へる點です。これは桃太郎に限られた事ではありません。多かれ少かれ、童話の持つてゐる特異性です。味であり、潤ひであります。中でも桃太郎には、子供の持つ空想性が、アニメズムが、實に自然に、生かされてゐると思ひます。ところが、これを話す人が、この子供の想像力の世界に入り得ない時は、たとへ如何に上手に話せたとしても、それはこの話としての眞實性(事實としての眞實でなく)に於て缺けるものとなり、その空虚さは、子供の心に映らずにはゐないと思ひます。話し手は、話を知るのみでなく、自らの心によく感じ、子供の心に合致し得る大人でありたいと思ひます。桃太郎の話は我國古來の童話の中で最も氣宇の宏大なものです。この話によつて、明るく、強く、而も親しみ深い優しさをもつ桃太郎の性格を子供達に感得させるのが主眼點ですが、それは子供自らに任せて表に立てず、押しつけがましくなることは避けるべきだと思ひます。

花咲爺の話は、よいお爺さんにおいて、善良な、素直な、そして樂天的な日本人の性格の一面がよく表はされてゐます。また枯木に花を一面に咲かせるといふ點等、日本の風格のあらはれとして注意すべきであります。この話は、二人のお爺さんを登場させて、善人と悪人の行動と、その結果とを對照的に扱つてありま

すから、勸善懲惡を主題としたものであることは明らかであります。けれども子供には、よいお爺さんには結局幸福が惠まれ、怨の深いお隣りのお爺さんは懲しめられたことを自ら感得させるにとどめ、「だから悪いことをしてはいけませんよ」等と話のおちを教訓的な上味でぬりつぶしたくはありません。この善惡といふことに就いて考へますと、人間の本性として善、若しくは向善性を考へ、悪い人も、(といふより善くなれないのである人も)善への憧憬は持つてゐる。その善性、向善性がたま／＼或る事件によつて覺醒され、「後悔しました」「善い人になりました」といふ結果を、勸善懲惡の意味に於てとなく齎らしたものです。こゝから舌切雀のお婆さんについても同様のことが言ひたいのです。なほ、子供の恐怖心を刺戟するやうな怖い話は避くべきだと思ひますから、お婆さんの葛籠の内味もお化けでなく改めたいと思ひます。

更に、保育案には取り上げられてゐませんが、猿蟹合戦の話が、

ヨミカタ二の七に「サルトカニ」として收められてゐるのを見ますと、親蟹が猿に柿を投げつけられて死に、子蟹が仇を討つて猿を殺したといふ點を避けて、猿が悪かつたと謝つたといふやうに改めてあります。即ち、

サルハジブンバカリタベマシタ。シマヒニ、青イ柿ヲカニニナ

ゲツケテ、イツテシマヒマシタ。カニハ大ケガラシマシタ。

(二七頁—二八頁)

と、大ケカといふ言葉を用ひ、また、

ミンナデ、サルヲコラスコトニシマシタ。(二八頁)

と、あつて、仇討なる言葉はありません。最後は、

サルハ、ジブンカワルカタトアヤマリマシタ。(三〇頁)

となつてゐます。國民學校に於ける教材としての「サルトカニ」の扱ひ方は幼稚園のお話に於ても大いに注目すべきことだと思ひます。

以上、具體的なお話の例を二、三に限つてとりあげましたが、幼児に適當な話を選んだならば、どの話をするにしても、先づその話を自分のものにするのが第一だと思ひます。自分のものにするとは、話の筋を知り、それを明確に記憶することのみではありません。話そのものを自分の心に感じることです。さうすれば、話の文章に左右されることなく、自分の言葉として、熱を以て、最も適切なリズムを以て、端的に話すことが出来ませう。かうしてなされたお話は聞く子供の心の眞實に觸れ、子供の心を培ふと共に、話し手自身の心も培はれてゆくものだと思ひます。

幼稚園の手法の導き方

及川ふみ

幼稚園はすべて幼児の天地である、朝登園してお歸りまで相當に長い時間をおきる事なく、楽しく、面白く、遊びつゞけてゐるのである。定められた保育事項を、この間に巧みに組み入れて、より楽しく、より面白く遊ばせるところに保姆その人の手腕のふるひ所があるのであらう。様々の保育事項をただそれだけの保育事項として形式的にのみ配列して保育案をたてるのは最も簡單なものであるが幼児たちの立場から考へると誠に不親切なやり方と

いふのであらう。滋養の多い食物も調理の方法によつて一段と養價を増大するものと、又あべこべにその効果を半減するものが出来るわけと同じやうな事であらう。

唱歌、遊戯、お話などの保育項目は、それ自體が幼児たちに、はたらきかけるものである。幼児たちはこの興味の中にひきつけられて面白くなるのであるが、手法の方はこれ等と反對に幼児自身が積極的に作るものであるからその指導法についても餘程留意して幼児自身の興味といふ事を考へなくてはならない。外部から受ける事項のみ多いこの保育項目に對し、自分から作り出す力を本體とした手法はその効果の大きさと比例して、その指導法も亦簡單ではないのであらう。

一、物を作る興味を養ふ事

大人の場合にもよくある事であるが、他人のする仕事を見て、仕事の興味をひきおこす事が大切なことである。仕事をする人は外から見たところではわからないところに苦心するところもあり、工夫するところもあつて、仕事を傍觀するものゝ様に興味にのつてしてゐる時ばかりではないが、とにかく他人が仕事をしてだん／＼に出来上つてゆく道程を眺めてゐる事は面白いものである。手近いところでは幼稚園では保姆や、年長組の幼児たちの作る様々の製作をしばしば観察させることである。

一、簡單な製作物をつくる事

幼児の製作程度を考へて、簡單に作れるものがよい。興味をもつて作りかゝつても製作が複雑である時は途中で興味がなくなるばかりかこれなれいとふ様になる。ことに新入幼児たちの製作に對

する興味などは極めて淡いものであるから入園當初の手技の指導法には一層の注意がはらはれなくてはならない。

粘土製作にしても入園後はじめて粘土をいぢつて見るといふ幼児もあるのであるから、初めは極めて簡単な材料を選んで誰にでも出来るものをさせなくてはならない。大きい粘土のかたまりを少しづつとつて、まるめていくつものおだんごにするだけでも一つのお仕事である。又鉄仕事などにしても、始めはたゞ鉄をもつて紙を切るといふだけでよいのである。出来るものを期待せずに、紙を切る遊びをすると云ふ事である。要するに始めは容易な材料を與へて、幼児たちが仕事に對しての自信をもたせる事が最も大切なことである。

一、指導者が巧に製作する有様を幼児に充分にみせる事

幼児たちは大人の仕事をよるこんで見てゐる事が多い。大して自分に關係のないものでもそうであるが直接に幼児にしたしみのあるものを作つてゐる時などことに興味の深いものである。巧みに物を作る様子を傍觀してゐる時は、その仕事がかやすくつくられる様に見えてそこに製作慾といふものが自然に湧きあがつて来るものである。

人には器用、不器用があつて、保姆が必らずしも器用のものばかりでもない。業の巧拙にかゝはらず仕事に對しての熱意のあらはれは見てゐるものを少からず惹きつけさせ得るものである。ましてや興味をもつて自分たちの直接に關係のある品物が作られてゐる間は幼児たちはどんなに喜んで觀察するところとなるであらう。

一、製作には適當の時間がよい

作品に對して製作にあきながらす事は決してよい結果が得られない。遊びの興味も全くない事になる。製作には適當の時間といふ事を考慮して作らせなくてはならない。手技はあまり永い時間とどけてする事は考へなければならぬ。かさの廣いものなどでもする事それ自身は簡單でも分量の上で多いとあきて來るのである。保姆はたえず幼児たちの製作する様子を觀察して適當の時に仕事をうち切る事にするのがよい。

一、一つ仕事を連續して作る樂しみを養ひたい

またまつた仕事は一度や二度では容易には出来ない事が多い。仕事の一部分をだんぐりに樂き上げる様にする興味を養ふ事が大切である。適當の時にくぎりをつけて、又次の時にその續きをつゞけるといふ事はその仕事に忠實なやり方であつて充實したものがつくられる。

一、手技をする時を度々にして種々のものを作らせる事

一つ一つの手技が作品らしくまとまらなくても作る事が面白くて、度々これをくりかへしてゐる時は、自然とどつくるものも上手になる。

一、作らせる手技の題材は幼児に直接に關係のあるもの、興味を

ひくものである事

作るものが幼児たちに直接に關係のないものは興味もないのであるから、つくる材料を考へて幼児の喜びそうなものを選びべきである。

一、製作に必要な材料を出来るだけ豊富に與へる事

度々手技の時間をつくる事も材料を豊富に與へなくては出来ぬ事である。一時に與へる材料も出来るだけ充分に與へたい。大きさなども程度問題であるけれどもあまり小さいものばかり作らせない事である。

この材料を豊富に與へる事は自然に經濟的に關係のあることであつて經濟の許す範圍でといふことになる。材料は新しい材料が必ずすよいとばかり限らない。時局柄資材を大切にしなければならぬといふ事を云はずして幼児たちにも實行でみせて、大いに利用厚生之道をひらかななくてはならない。

ボールの空箱、木の空箱、包紙、古端書、古封筒、組類、古雜誌、古新聞紙などそれ／＼に幼児の手技の材料として誠によいものである。ボールの空箱、木の空箱などは箱自身そのまま利用するのには調法である。ボールの厚紙から箱を作るとなると幼児の力にはむづかしい仕事である、その上材料費もよほど蓄んでくる事である。

ボールの空箱では家を作つて遊ぶことも出来るし、動物のいろいろの種類も作ることが出来る、電車、汽車、バスなどの乗物も比較的簡単に作られる。又浅い箱などは單にボール紙として使つてもよいが立繪などの臺紙や背景などに用ひるとよい。

包紙は比較的紙も丈夫であるから、紙風船を作つたり、飛行機、紙鐵砲などをつくるのにもよい。

古はがきの利用は幼稚園で多く行はれてゐる様であるが、これは紙の質もよく、大きさなども幼児たちがもてあそぶのに好適のものである。この古はがきで幼児たちの手技は數がぎりなく作り出

されるのである。

古新聞でもいろいろのものを古くから作つて遊んでおつたのであるが、この頃新聞粘土として様々のものをつくつて遊んでゐる。

この新聞粘土の大層よい特點は出来上つたものが丈夫であるといふ事である。幼児たちが自分たちで作つた野菜でおまゝ、こが出来、自分たちでこしらへた動物で動物園こつが出来ると云ふわけで作られたものがながくおもちゃとして遊べるのである。

自然物おもちゃ

材料を豊富にするといふ點では自然物のおもちゃが澤山にある。麥ワラ、ワラ、どんぐりの實、梧桐の實、藤の葉柄、笹の葉、松の葉、入ツ手の葉、落葉などいづれも幼児たちを喜ばせる自然物のおもちゃの材料である。

いてふ、さくら、もみぢ等の落葉、どんぐり、梧桐の實など幼児たちはこれを拾ひあつめるだけでもうれしい遊びである。梧桐の實は豆やゴムの代用品として實に好都合のものであるから秋の末頃これを澤山に拾ひ集めておくと一年中豆の代りに使はれて重寶なものである。

一、日頃事物の觀察を充分にさせそのものゝ特徴を捕へさせてこれの表現の容易に出来る様に習慣づけること

幼児の製作するものは極めて、簡單であるがその簡單のうちにも特徴の表現が大切なことである。この點觀察と手技は殊に密接な關係があるものである。

一、幼児の手技は全く幼児のみで作られなくてもよい

幼児の特技は全く幼児のみでつくらなくてはならない事は無い。大きい生徒たちの様に出来た結果を成績としてあつかふものではないのである。幼児は日常の遊びのうちにいるくのおもちゃがほしい時がある。汽車遊びの時などは切符があればよいと思ふ時もあるし、驛の名札、切符切、改札口などと次々とほしいものが出来て来る。そのうち幼児たちの手で出来るものもあれば、出来ないものもある。幼児たちで作れないものは保姆の方で作って與へたり、買つて與へたりする事もある。又幼児たちが要求するまでもなく保姆が遊びを観察してゐてこんなものがあればよからう、こんなものもほしいだらうとこちらからすすんで作つてやる事もあつてほしい。

一、作品を大切にする習慣

幼児の作るものほどより簡単なものである。これに用ひた材料も亦輕少なものである。幼児をはなれてその作品だけとするとある意味では價値の少ないものであるかもしれない。けれどもこれが幼児自身で作つたものとしての價値は又特別のものである。日頃保姆自身も出来上つた幼児たちの作品を大事にして、幼児自身でこれによつて教へられる様にしないでほならない。

以上特技の導き方について數項を擧げて見たが要するに形にあらはれる幼児の特技は保姆自身がこれに對する興味を多くして楽しく作る實際の様子を観察させると同時によき作品の觀賞といふ事も考へなくてはならない。幼児の程度にふさはしい形のよきもの色のよきもの、など日常幼児の目にふれるところにおいてしらすしらすのうちにその影響をうけさせたいものである。

潜水部隊雅懷

——東京日々所載——

いざ征かん今こそ撃たん征戰の

詔勅戴く今日は榮あり

雙の目の痛さ忘れて見張りけり

艦の安危を擔ひし身なれば

敵見えぬ轟く聲も爽かに

思はず締めて見合ふ鉢巻

狂歌

五と三でいつも威張れるアメリカも

出端くじかれいつも惨々

(三三三)

川柳

メリケンがメリケン食ひてあはを食ひ

春の園藝

—幼稚園の用意—

大 岩 金

来る四月は學校、役所等のお正月である。幼稚園も同様に園児を迎へるので、各方面に周到な準備が出来てゐるやうであるが、その中に極く一部分仲間入させて戴くやうになつた。然し、私の述べる部分は既に時折書いた事があつて、全く新しいものでもなく、最早皆様の御承知になり、實習されてゐるさうな事が多いと思ふが、只今後はしばらく連續して掲げるに過ぎないのである。

さてその述べる所は大體常附屬幼稚園編纂の「系統的保育案の實際」中の觀察の項に出てゐる材料を主として取り、その栽培方面に關したものの、々みを略述し、是が觀察に就ては清水先生より適切な御指導を願ふ事にする。

一、幼稚園のお庭

花壇二つを作る

その一

日當のよい場所を選び、明るい氣分の出るやうに全部植

ゑ付けておく。

1、形

圓形、方形、長方形、任意であるが、なるべく簡單な方がよい。

2、大きさ

庭の廣さ、材料の多少等に依り異なるべきであるが、あまり大きくないもの、方が作り易い。殊に時局柄花壇のみにするよりも庭の廣い時は一部を菜園にした方がよいと思ふ。

それ故に圓形では直徑二米位、長方形では幅六、七十糎、長三、四米のものが適當であらう。

3、土の入れ方

深さ五十糎位掘り起し、なるべく土を細かく碎き、次にその土を片方によせて、空いた方の底に、かねてから用意してある堆肥、又は腐葉土を入れ、その上に先頃片方によ

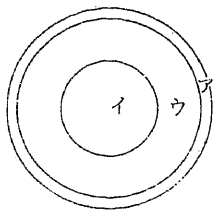
せた土をのせる。残りの部分も前同様にする。この時、鶏糞、草木灰等があれば少し混ぜておく結構である。そして周りの土面よりも凡そ十糎位高くなるやうに土を盛り上げてその表面を平に均らす。

4、縁植

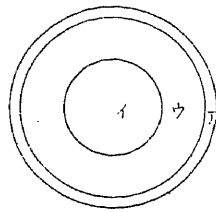
昨年の秋に株分けしておいたアルメリヤ、挿木した花芝（モッスフロックス）、播種した雛菊（デージー）のいづれかを植ゑつける。

5、中の植付

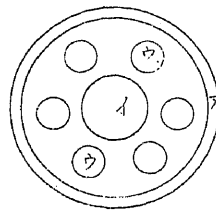
草花の種類は、量に依つて植ゑ方を異にするので、二、三種の例を示す事にするが、花壇として調和の取り易いのは、草花の種類を少なくした方がよい。従つて今後花壇用の草花の苗を用意するときは餘り種類を多くせず、量を多くする事である。



例一



例二



例三

例一、ア、縁植、アルメリヤ(桃色)

- イ、中央、キンセンカ(樺色)
- ウ、ニホヒナヅナ(白色)

例二、ア、雛菊(桃色)

- イ、キンセンカ(樺色)
- ウ、三色スミレ(紫色)

例三、ア、花芝(ボタン色)

- イ、キンセンカ(樺色)
- ウ、三色スミレ、雛菊、アルメリヤ、ニホヒナヅナ等色々、少々宛あるものを色彩の配合を考へながら點々植ゑ込む。

その二

是は縁植までしておいて、中の部分は空けておき今後、園児と共に植ゑてゆくやうにしたい。その爲には形はなるべく長方形が便利であり、圓形なれば小型のものがよい。

中に植ゑ込むものとしては摘草などで持ち歸つたものなれば、スミレ、タンポポの類にミヅめて他のナヅナ、ヨメナ等は適當に使用し、花壇に植ゑ込む程のものでもないかと思ふ。

尙この花壇に餘裕があれば秋播のキンギョサウ、ナデシコ、ビジヨザクラ、ムシトリナデシコ等の苗を植ゑ付けてもよいのである。

二、種子播

1、苗木

大體前に述べた花壇用の床と同様でよいのであるが、形は長方形が最も扱ひ易く、縁植も幼児用のものであれば木材、(ヌキ等)草花、又は灌木類のもの等でしておいた方が、通路との限界がはつきりして踏み込む心配がなくてよい。

土は花壇の土粒よりも今少し小さくする必要がある。土篩があつて上側丈でも篩にかけたものなら尙更結構であるが、是のない時は手でもみ碎いた丈でも差支へない。

排水佳良である事は必要であるので、腐葉土を入れるか、川砂を混ぜるかしておく。

2、播種するもの

草花

百日草、千日紅、シヨウブ、サウ等を夏から秋にかけての切花用、花壇用として苗床に撒播する。

コスモスは秋の切花用として同じく苗床に撒播する。

サルビヤは秋の花壇用として苗床に撒播する。

ケイトウ、ハゲイトウは移植を嫌ふので、花壇なり、庭の日當りのよい適當な場所に直播する。播き方は撒播、條播いづれでもよい。

蔬菜

蔬菜の種子に就ては参考までに凡その播種量を示しておく。但し種苗店では今尙尺貫法に依つて居るので、こゝでも

それに依ることにする。

菜豆 畑に直播、點播にする。但し一穴に二、三粒宛入れる。

種類は蔓無、蔓有いづれでもよいが鉢に播くやうな場合には蔓無の方が始末がよい。

播種量 一坪に付一勺

玉蜀黍 苗床に條播、又は點播にする

播種量 一坪に付一勺(本圃に要する量)

二十日大根 畑に直播、條播にする。

播種量 一坪に付〇・四勺

落花生 畑に直播、點播にする。皮付のものは皮を剥いで播く。

播種量 一坪に付一勺餘

ツルナ 苗床に撒播、又は畑に直播、點播にする。

播種量 一坪に付一勺

その他

ヘチマ、レイシ、枝豆の播種、里芋の植付等してよいのである。

附 一坪 \equiv 一・八米平方

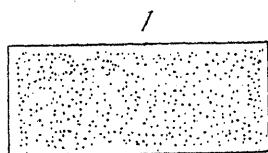
一勺 \equiv 一合の十分の一

五合五勺 \equiv 二立

1 撒播

2 條播

3 點播



1、條播

ア、は草花等移植を嫌ふものを畑に直播する時なぎに多く用ひられる。

イ、は蔬菜の菠薐草、春菊等を播種する時に用ひられ幅

廣く播くのである。

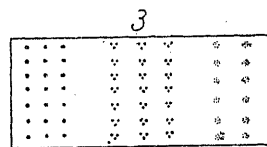
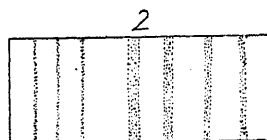
2、點播

ア、は草花のアサガホ、キンレンカ等大粒のものを苗木に播種する場合なぎ多くこの方法に依る。

イ、は蔬菜の菜豆、蠶豆等大粒のもので畑に直播し、移植を嫌ふものに用ひられる。

ウ、は白菜、小蕪菁、大根等大方の蔬菜で畑に直播されるものうちあまり大粒でないものはこの方法に依り、たいてい一ヶ所に十四、五粒播種する。

3、播種後の管理



それら、適當の方法で播種したならば種子の上に種子の直徑の二倍乃至三倍の覆土をし、その上を軽く壓へておく。

次に細目の灌水用の如露で充分灌水する。

その後は大體一日一回位土の乾き具合を見て靜かに充分灌水する。

種類に依り三、四日長いのは十日以上もかゝるものもあるが發芽するから、大凡發芽揃ひをして、根から充分に水を吸収し得られるやうになつたら、畑のものには灌水を止めてよい。

次に追々間引をしたり、移植をしたりしなければならぬが是は次號に述べる。

幼稚園唱歌選集

品切れにてご不自由をおかけ致して居りましたが、再版が出来ましたからさし／＼御注文下さい

日本幼稚園協會

大東亞戰爭必勝完遂

幼児の母



昭和十七年
三月

初めての先生

今月は保育修了の月です。お子さん達は、國民學校へあがることを、大よるこびで楽しみにしてゐませう。お母さんの方も、學齡に達した我子の幸福を、心から祝つてゐられることでせう。まことに
お目出度い月であります。

ところで、その喜びの中で、是非更めて氣をつけて頂きたいことは、幼稚園の先生方に對する、お子さん達の感謝の心です。感謝といつても、幼児のことですから、まだ極くあつさりした心持しかないでせうし、それでいゝのです。がしかし、何せよ、お子さんが初めて先生といふ人への感謝です。これは大切なことだと思ひます。これから後、いろ／＼の先生にお世話になられるお子さんとして、師に對する正しい心持ちといふものを、先づ幼稚園の修了に當つて、初經驗する機會が與へられるのです。勿論、それは、物でするお禮といつたことではありません。ほんとうの謝恩の心を、幼児ながらによく持たせることです。先生の前にあらはさせることも必要ですが、それ以上、心の内によく感じさせることです。それには、家庭の人の心持が先づさきでせう。それがおのづから子ども心に傳はるのです。

わが子の初めての先生は幼稚園の先生です。

幼稚園から

○お子さんの國民學校入學を、喜びお待ちします。もうお仕度くも出来ましかし。仕度くといつて、教科書を、さきまわりして置いて置いたりするのは、いらないこと、いふよりも、いけないことでせう。たゞ、新しい教科書や學用品は、お子さんといつしよに喜んであげることが大切です。

○物の方では、時節柄なるべく節約方針で、出来ることなら兄さん姉さんのものを使ふことにしたいものです。但、その場合、よく洗ふとか、寸法をなすとか、つくるひをするとか、丁寧に氣をつけなくてははいけません。「お古でいゝんだよ」とよこれたまゝなんかはいけません。況して、節約に名を借りて、點數をかせいでお母さまのおしやれに……之れは飛んだ失禮。

○入學日は、何はなくとも家庭のお祝ひをして下さい。常なら赤飯の日です。

國中心の教育

倉橋 惣三

□我子を教育してゆくのに、何を中心に置かせるか。いゝ人におなり、強い人におなり、賢い人におなりといふに變りはないのですが、何のためにいゝ人になるのか、強くならなければならぬか。賢い人になるべきか、といふことが無くてはなりません。その何のためといふのが、即ち、中心をどこに置くかの別になるのです。その中心がなくては、眞の目あてのある教育といへないし、その目あてが正しくなかつたら、それこそ其の教育は間違つたものになります。

□その目あて、即ち教育の中心が、自分一己である時、個人主義の教育といふことになります。自分の幸福、自分の成功、殊に自分の榮譽出世のためといふのがそれです。こう申すと、いかにもこうつくばり教育のやうですが、案外それが

少なくなかつたりするのです。子ども自身格別そういふことをはつきり考へる譯でもないでせうが、親がそう思つてゐると、そして、そういふ仕向け方、言ひ方をすると、子ども、亦そういふ氣になリませう。そして、相當の力量のある人間になるとして、それが一切自己中心の生活になつて仕舞ふのです。

□ところで、斯ういふことは、親の考への間違ひといふよりも、親らしい間違ひともいへるかも知れません。可愛い、我子を中心にして、我子を教育するのの一應は親ごころともいへませうから。

しかし、それは正しい目あてとはありません。日本の家庭教育の眞の正しい中心ではありません。

□我家のためといふこともよくいはれる目あてです。家を愛し、家につくすと

榮養位 子供向きお菜

厚生科學研究所
國民榮養部 佐々木理喜子

三月の聲を聞くとき青々したお野菜がいゝ頭／＼に浮びますが、それは兵隊さんに澤山食へていたとき、私共は手近のもので色々工夫致しませう。

【1】 そぼろ(お辨當用)

材料 鰯(生干)四五瓦 葱一五瓦 人參二〇瓦 油三瓦 以上で蛋白質八・四瓦 温量一〇六カロリ

作り方 鰯は澤山あります。甘鹽で一吋と干した位を選びませう。頭と中骨を取り、細く切り、よく叩いて播身にします。葱を細く刻み、人參は卸します。葱と人參をよく混ぜ、油で一吋と炒め、此の中へ鰯の播身を入れて、カラ／＼に炒ります。野菜を先に入れぬと、鰯が焦げ附きます。砂糖、鹽、醬油の順に入れて味をつけ、汁がなくなるまで煮ます。

【2】 三色丼と清汁(お節旬用)

いふことは勿論いふことであり、大切な心でありまして、此のことそのものは悪くはありません。しかし、我家のためといふことだけに狭くどまり、限られてゐる目あては、決して、日本の教育の眞の中心とはいへません。家のためといふのも、我がといふところに限りどまりません、そこから、もう一段大きく、もう一段廣く、もう一段高いものが中心になるのでなければなりません。

それが、國であることは申すまでもありません。日本の教育は一切が國を中心にしてゐるのです。家庭教育もそうです。親が我子を教育する目あても、必ずそこになければならないのです。

□これは、苟も日本の母として、誰れも分つてゐることです。心得てゐることです。たゞ、日常實際の我子の導き方がそうなつてゐるか。つい言ふ言葉も、確にそうなつてゐるか。此の實際はよく氣をつけなければならぬことがあるやうです。

□「そんな意氣地なしでは大きくなつて、えらい人になれませんよ。」「そいふと

ころに、まだ不用意がかかれてゐるかも知れません。「そんな不勉強では仕合せに出来ないよ」と、國民學校の子どもに言つたりするのも同じです。なぜその時、はつきり、「そんなことでは、いゝ日本人になれませんよ」「お國のためになりませんよ」といはないのでせう。

□「坊や大きくなつたら、お母さんを大切にしてお呉れ。」決して悪い言葉ではありません。孝の教育として貴いことに相違ありません。しかし、それと合せて、「ね。お國の爲に盡してお呉れ」と言つた時に、その導き方は始めて完全でせう。

□「うれしいこと、喜ばしいことがあつた時、どこかへお禮がたいものであります。それを、どこへもつてゆくか。神さまのお蔭であり、佛さまのお蔭であると思ふことに、決して間違ひはありません。しかし、日本の子どもとしては、一切を、み國のお蔭、天皇陛下のお蔭として有り難くお禮申し上げることが第一です。それを、家庭日常の言葉や行動にも、しつかりあらはさうではありませんか。そうして、我子の心を常に、此の眞の中心に向けさせて置くのです。

材料 しろす干二五瓦 芙蓉豆二〇瓦
人參一五瓦 刻昆布少々 油三瓦 春雨
六瓦 以上で蛋白質八・六瓦 温量九六
カロリ

作り方 御飯は薄い櫻飯に炊きます。しろす干は、ざつと熱湯を通し、砂糖、鹽で味付け、芙蓉豆は青く鹽茹にして斜に切り、一寸と味付けます。人參は織切り、刻昆布と一緒に砂糖、醬油で味付けます。井に御飯を盛り、其の上に、白、青、赤の貝を恰好よくのせます。

清汁は煮出汁を取り、春雨、花彫人參、芙蓉豆を入れて作ります。

【3】 甘露園子(お八つ)

材料 メリケン粉三〇瓦 馬鈴薯二〇瓦
砂糖八瓦 醬油少々 以上で一五八カロ
リ

作り方 馬鈴薯を蒸し潰します。メリケン粉と混じ、お團子を作り茹で、二個宛、小揚子にさし、砂糖と醬油で作つた蜜をまぶします。

三月の衛生 醫學博士 齋藤文雄

□お子さんを育てます時報酬の事を考へるお母さんは一人もありません。お子さんそれを認識する、しない、そんな事はどうでも良い事なのです。兎に角吾

向きにお子さんを育てませう。大東亞を背負ひ立つ勇士の母ですもの、その位の覺悟は當り前の事と存じますが一言申し添へました。

がお母さんの本當の氣持でせう。一方お子さんは、そんなお母さんの苦勞等少しも知らず、獨りで大きくなつた様な積りで育つてゆきます。然し、やがてはいつの日かに立派に育つたわが身を顧みて、今更の様に誰がこんなに怪我一つ無しに育て、呉れたのか、に思ひ當つて吃驚いたします。そうしてその裡にかくれた尊

□お天氣が次第に崩れ寒さの中にも春らしい萌しさがそちこち覗いてゐます。斯う云ふ季節は病氣が多くなります。一しきり感冒が暴れ廻ります。冬の寒い間は風邪もひかずに元氣だつたお子さんが、この頃になつて肺炎になつたりいたします。着物の調節に氣を配りませう。埃りの多い風の日によく含嗽と「マスク」をいたませう。

い光りが急に見える様になり今更乍ら母親の愛の深さに打たれる日が参ります。親は何も言舉げしない丈けにお子さんは底知れぬ愛の深さを考へます。この頃は育児と云ふ事も中々六ヶ敷くなつて参りましたが言舉げしてはいけません。ひた

□人間の身體に「ビタミン」が一番少ない時、それは唯今であります。ビタミンAやDも冬になる前には相當貯へもありましたが冬の間に使ひ果して今は少ない時であります。ビタミンBもそろそろ暖かになつて参りますと冬の間より餘計あ

りませんと間に合ひません。密柑も萎びてしまひ、林檎もかさかさでビタミンCが非常に不足いたします。ビタミンは機械の油の様なものですから、之が無いと機械のすべりがうまく行きません。病氣をいたしまして機械が餘計動かなければならぬ時、そう云ふ時には觀面に應へて参ります。お子さんに肝油が必要なのは唯今こそであります。こゝ二三ヶ月は是非共差し上げて頂き度いものです。

□春先は眼病が多くなります。朝起きました時に眼脂が出てゐるお子さん、眼が充血してゐるお子さん、眩しがつたり、痒ゆがつたりするお子さんは早く眼の手當をして頂かなければなりません。霜焼けが崩れるのもこの頃です。悪い細菌が入らない様に氣をつけてやつて頂き度いものです。

□今月は入學やら何やらでお子さんも相當氣を使ひます。行事がすつかり濟みましたら御褒美を差上げて頂きませう。何を差上げませうか。日光、外氣、風光、つまり旅に出よ、遠足に連れて行つて戴き度いと云ふ事でありませう。

日本幼稚園協會編輯 幼兒の教育

會長 東京女子高等師範學校長 下村 壽
 主幹 東京女子高等師範學校教授 倉橋 惣三
 附屬幼稚園主事 倉橋 惣三

日本幼稚園協會規則

第一條 本會ハ幼兒教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス

第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼兒教育ニ篤志ナルモノトス

第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ齎出スヘシ、會員ハ無料ニテ本會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ケ

第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルヘシ

第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルヘシ

第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得

第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
 一、幼兒教育ニ關スル研究及ヒ調査
 一、幼兒教育ニ關スル講演會及ヒ講習會ノ開催

一、雜誌發行(毎月一回)

一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行
 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
 一、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件

會ノ開催

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 會長 一名 會務ヲ總理ス
 主幹 一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス
 幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
 評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ス

第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス

第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス

第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ

第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラザレバ變更スルコトヲ得ス

定價

一ヶ月分	金參拾五錢	特等面一頁二等面一頁
半年分	金貳拾圓拾錢	金貳拾圓金拾圓以下
一年分	金四圓貳拾錢	一等面一頁一頁以下
拾貳冊送	料共	金拾五圓御斷り
廣告	料共	神田區駿河臺ノ三品田廣告社に御申込下さい

(外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)

昭和十七年二月二十八日印刷納本
 昭和十七年三月一日發行
 幼兒の教育 第四十二卷 第三號

不許複製 禁止轉載

編輯者 倉橋 惣三
 發行所 柴山 則常
 印刷所 東京市本郷區駒込林町百七十二番地
 印刷所 倉橋 惣三
 東京市小石川區大塚町三十五
 東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
 振替口座東京一七二六六番

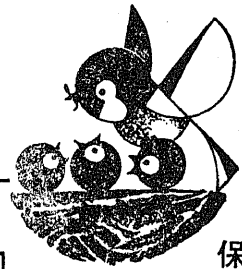
發行所 日本幼稚園協會

注文規定

一、本誌御注文の方は凡て前金(郵税共)で願ひます(郵券代用の場合は據替貯金で振替口座御送金の場合には振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます)
 一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたし
 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御出越を願ひます
 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に「前金切」の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます
 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます

日 本 保 育 館 發 行 書 目

幼 兒 教 育 に 於 け る 生 活 指 導 書
實 際 保 育 上 に 直 に 役 立 つ 良 書



保 育 叢 書

倉橋惣三先生監修

四六判總本
各册定價金一圓
送料六錢

- | | | | |
|-----------------------------|-------------------------|----------|------|
| 第一編 | 幼兒の 人形芝居脚本
菊池ふじの先生共著 | 定價金一圓 | 送料六錢 |
| 第二編 | 自然物おもちゃ
徳久孝子先生共著 | 定價金二圓五十錢 | 送料十錢 |
| 第三編 | 幼稚園の 手技製作
騰真規子先生著 | 定價金一圓五十錢 | 送料十錢 |
| 第四編 | 實驗 保 育 學
及川ふみ先生著 | 定價金一圓 | 送料六錢 |
| 幼兒 性 行 評 定 尺 度 | 淡路圓治郎先生著 | 定價金一圓 | 送料六錢 |
| 幼 兒 發 達 檢 査 | 淡路圓治郎先生著 | 定價金一圓 | 送料六錢 |
| 農 繁 託 兒 所 の 經 營 | 牛島義友先生共著 | 定價金一圓 | 送料六錢 |
| 實地踏査 に基づく | 吉田虎彦先生著 | 定價金一圓 | 送料六錢 |
| フ レ ー ベ ル 全 傳 | 倉橋惣三先生共著 | 定價金一圓 | 送料六錢 |
| 幼 稚 園 律 動 遊 戲 曲 譜 集 | 高市慶雄先生著 | 定價金一圓 | 送料六錢 |
| 附 記 憶 感 覺 競 爭 遊 戲 ・ 動 作 篇 | 大阪市保育會編 | 定價金二圓 | 送料六錢 |
| 構成々々を 主としたる | 大阪市幼稚園共同研究會第六區編 | 定價金二圓 | 送料六錢 |
| 第一卷 動作集 (金三圓)・第二卷 曲譜集 (金二圓) | | | |
| 子 供 の 舞 踊 | 石井 漢先生著 | 定價金二圓五十錢 | 送料十錢 |
| シ ル エ ッ ト の 作 り 方 | 鈴木 重章先生著 | 定價金一圓 | 送料六錢 |

日 本 保 育 館 社 會 式 株

本 社 所 張 出
東 京 神 田 二 町 保 二 (33) 話 電 番 六 三 二 八 三
大 阪 東 區 後 備 五 町 (24) 話 電 番 八 三 九 一

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
昭和十七年三月二十八日印刷納本

昭和十七年三月二十八日印刷納本

定 價 參 拾 五 錢